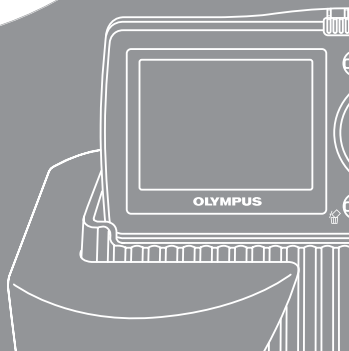
取扱説明書
応用編

デジタルカメラ

IR-300

● ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
● 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

取扱説明書の使い方

●「基本編」と「応用編」について

このカメラの取扱説明書は、基本編と応用編（本書）の2冊で構成されています。

基本編　まず、カメラを手に取って使ってみましょう。撮影して再生するまでを簡単に説明しています。

応用編　カメラの使い方に慣れたら、カメラの他の機能も使ってみましょう。もっときれいに、もっと楽しく撮れるように多くの機能が用意されています。

●表記について

本書の表記について説明します。

ご注意
故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。

ヒント
活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。

☞
本書での参照先のページを書いています。

● Dock&Doneをお使いの場合は

このカメラをDock＆Done対応ストレージ（ハードディスクまたはDVD）、Dock＆Done対応プリンタとお使いの場合は、本書の「9章 Dock&Done機能を使う」（P.104）をご覧ください。
Dock＆Done対応ハードディスクストレージ、Dock＆Done対応DVDストレージ、Dock＆Done対応プリンタの操作方法については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

取扱説明書の構成

各章の扉ページには、それぞれの章に関連したコラムを記載しています。ぜひご覧ください。

もくじ

6 アルバムを楽しむ - 81

7 VOICE 録音を利用する - - - - - - - - - - - - - - - 88

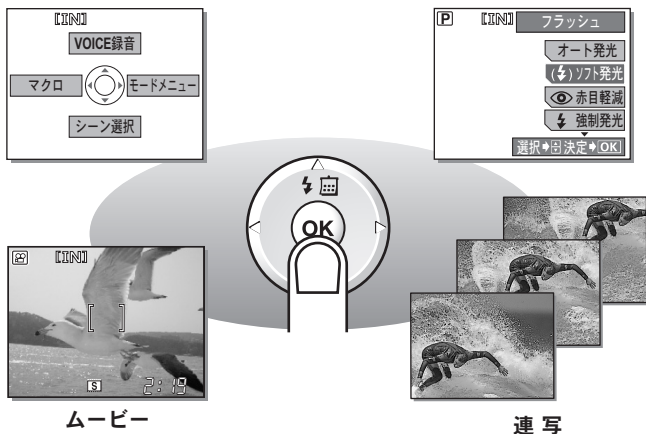
8 設定 - 92

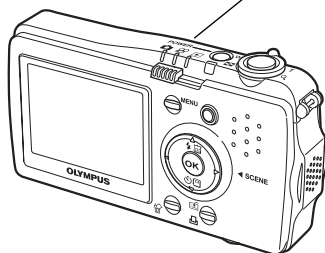
9 Dock&Doneの機能を使う- - - - - - - - - - - 104

13 資料 - - - - - - - - - 160

カメラの基本操作

1

いろいろな機能があるのは知っているけれど、なんだかむずかしそう、などと思っていませんか。
デジタルカメラを使うあなたはボタンを操作するだけ。メニューを設定すれば、画像の明るさや色合いをを調整する、ピント合わせの範囲を変えるなどの機能を簡単に使いこなすことができます。
メニューの設定は、液晶モニタを見ながらボタン操作で行います。各機能の説明を読む前に、まずはボタンとメニューの操作方法をマスターしましょう。

モードスイッチ

このカメラには撮影モードと再生モードがあります。モードスイッチを使って設定します。目的のモードに合わせて電源を入れてください。

●再生モードの種類

再生モードには以下の種類があります。モードスイッチの位置はすべて▶です。

- **再生モード（通常）** ☞「静止画の再生」（P.56）
  撮影した画像が1コマ再生されます。
- **カレンダー再生モード** ☞「画像をカレンダー表示する（カレンダー再生）」（P.57）
  通常の再生モードで1コマ表示中に△📅を押すと、画像がカレンダー形式で表示されます。
- **アルバム再生モード** ☞「アルバムの画像を見る（アルバム再生）」（P.84）
  通常の再生モードで1コマ表示中に▽を押すと、アルバムが表示されます。

? ヒント

- モードの変更はカメラの電源が入っている状態でも行えます。
- このカメラには、Dock&Doneに対応したストレージ再生モードもあります。ストレージ再生モードについては「9 D Dock&Doneの機能を使う」（P.104）をご覧ください。

モードスイッチの表記

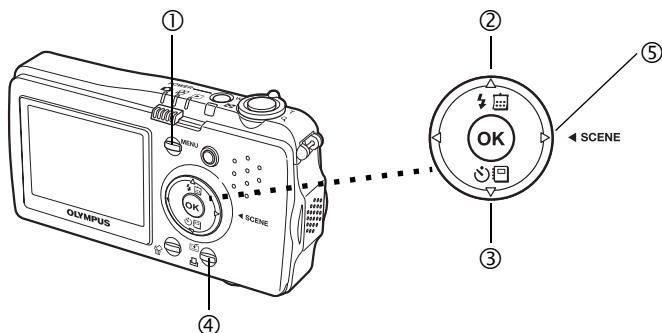
本書では、各機能を操作するときのモードスイッチの状態を以下のアイコンで示します。

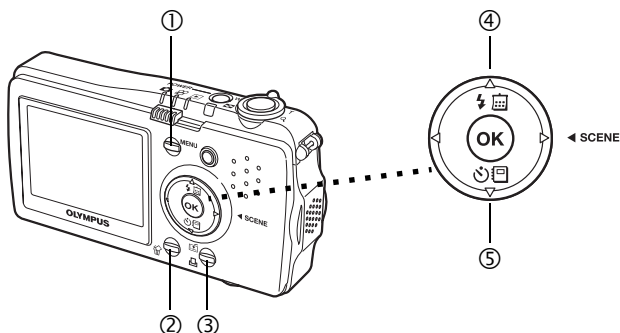
モードスイッチを📷に合わせて操作することを示しています。

モードスイッチを📷🎥▶のいずれに合わせても操作できることを示しています。

ダイレクトボタンの使い方

撮影モードと再生モードで使用できるボタンが異なります。

●撮影モード

①	MENUボタン	☞P.15
	撮影モードのトップメニューを表示します。	
②	△⚡（フラッシュモード）ボタン	☞P.38
	フラッシュモードを選択します。	
③	▽☉（セルフタイマー）ボタン	☞P.49
	セルフタイマー撮影のオン／オフを切り換えます。	
④	（カスタム）ボタン	☞P.97
	カスタムボタンに登録している機能を設定します。	
⑤	◁▷SCENE（シーン選択）ボタン	☞P.32
	◁▷を押してシーン選択画面を表示します。 △▽を押して撮影シーンを選択します。	

●再生モード

①	**MENU**ボタン	☞P.15

再生モードのトップメニューを表示します。

②	🗑（消去）ボタン	☞P.79

表示している画像を消去します。

③	凸（プリント）ボタン	☞P.112, 123

プリントのトップメニューを表示します。

④	△📅（カレンダー再生）ボタン	☞P.57

カレンダー再生モードになります。

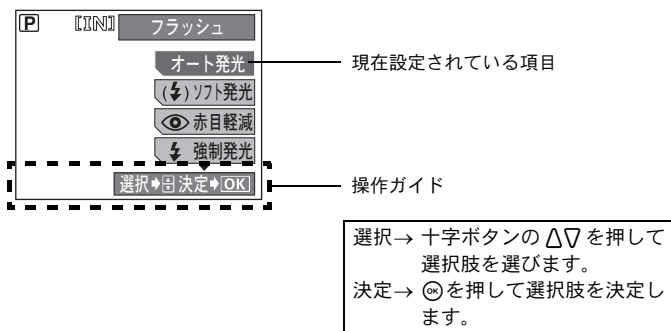
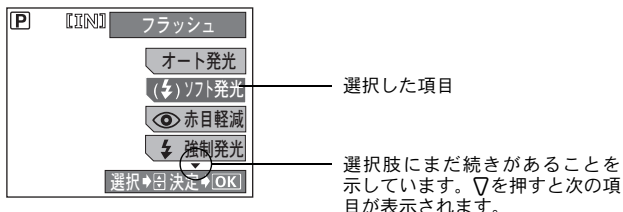
⑤	▽📒（アルバム再生）ボタン	☞P.84

アルバム再生モードになります。

ダイレクトボタンの操作方法

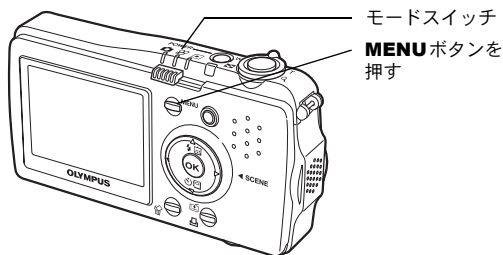
基本機能はダイレクトボタン操作で手軽にできます。十字ボタンと㊙を使って設定します。画面に使用するボタンが表示されますので、それにしたがって選択、設定します。
ここでは△⚡ボタンを使って、フラッシュモードを設定する操作について説明します。

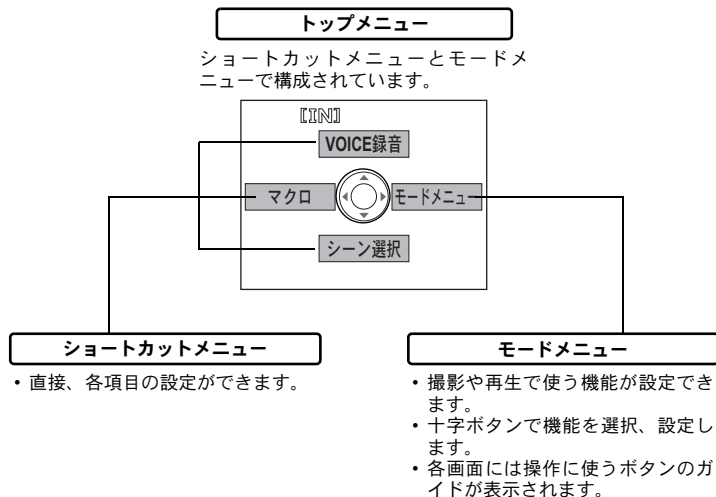
1 モードスイッチを📷に合わせて△⚡を押します。

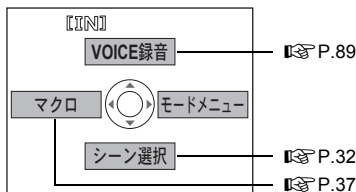
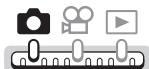
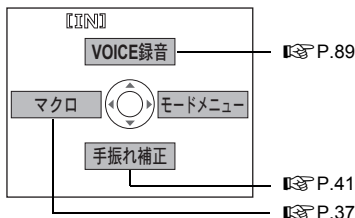
- フラッシュモード選択画面が表示されます。

2 △▽を押してフラッシュモードを選択します。

3 OKを押します。

- 設定が確定してメニューが消えます。

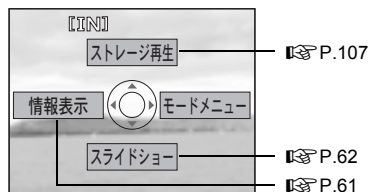
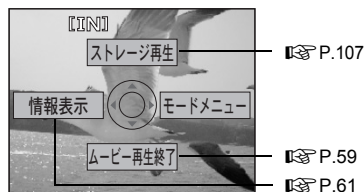
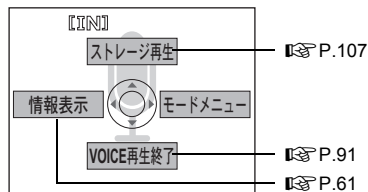
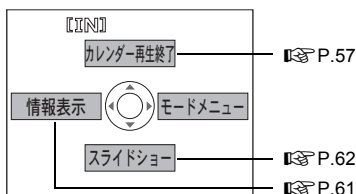
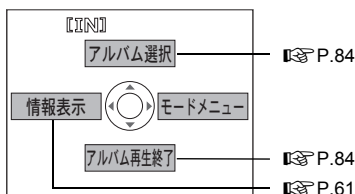
メニューの使い方

モードスイッチを📷🎥▶のいずれかにあわせて**MENU**ボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。カメラの各設定はこのメニューで行います。

メニューの種類

撮影モードと再生モードでは、表示されるメニュー項目が異なります。

ショートカットメニュー

モードスイッチの位置

モードスイッチの位置

モードスイッチの位置

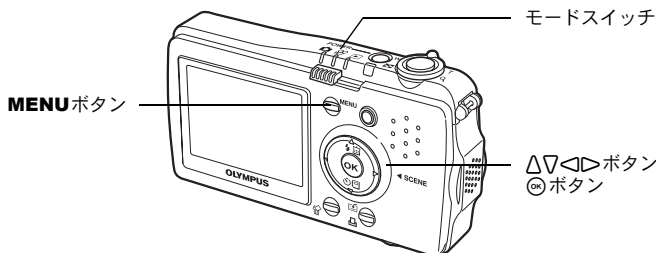
表示した画像により、メニューが異なります。

静止画再生時

ムービー再生時

VOICE再生時

カレンダー再生時

アルバム再生時

モードメニュー

以下の代表的なモードメニューの他に、ムービー再生時やカレンダー再生時などのモードメニューがあります。各項目については「メニュー一覧」（P.161）を参照してください。

メニューの操作方法

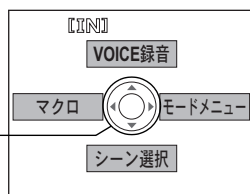
メニューは十字ボタンと㊋を使って設定します。
メニュー画面に使用する十字ボタンや操作ガイドが表示されますので、それにしたがって選択、設定します。ここでは、メニュー画面とその操作について説明します。

例：［測光］を設定する場合

1 モードスイッチを📷にあわせます。

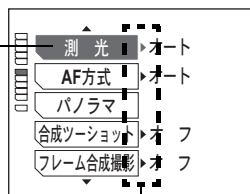
2 撮影モードでMENUボタンを押します。

- トップメニューが表示されます。

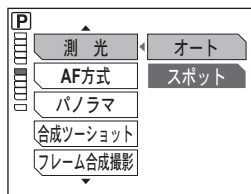
3 ▷ を押して［モードメニュー］を選択します。

十字ボタン（△▽◁▷）を表しています。

4 △▽を押して［測光］を選択し、▷を押します。

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択・設定します。
- 設定できない項目は選択できません。

選択した項目は色が変わって表示されます。

次の設定を行う場合は▷を押します。

5 △▽を押して［オート］または［スポット］を選択し、㊍を押します。

• **MENU** ボタンを押すとメニューが消えます。

ヒント

• 共通のメニュー項目は、いずれのモードで設定しても同じ設定になります。

メニュー操作の表記

本書では、メニューでの操作手順を次のように表記しています。
•例：［測光］を設定する場合の手順1～5

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［測光］▶［オート］／［スポット］

操作ページの使い方

各機能の操作ページの表記について説明します。撮影・再生を始める前にご確認ください。

モードスイッチをどの位置にあわせるかを示しています。
複数のアイコンが表示されている場合は、どのアイコンでも操作できる機能です。
☞「モードスイッチ」（P.10）、「モードスイッチの表記」（P.11）

画像の明るさを変える（露出補正）

露出を手動で微調整します。1/2EV刻みで±2.0EVの範囲で設定できます。
露出を補正した結果は液晶モニタで確認できます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［露出補正］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 △▽を押して調整し、㊍を押します。

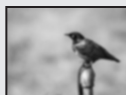
- プラス［+］で明るく、マイナス［−］で暗くなります。

メニューは▶の順に操作します。
☞「メニューの操作方法」（P.18）、「メニュー操作の表記」（P.19）

このページは説明のためのサンプルです。実際のページとは異なる場合があります。

撮影前に知っておきたいこと

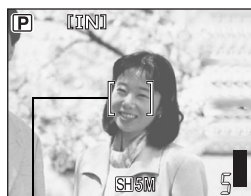
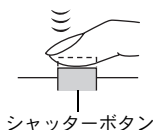
2

モードスイッチを 📷 または 🎥 にあわせてシャッターボタンを押すだけで、ほとんどの場合は上手く撮ることができます。でも、どうしても被写体にピントが合わない、被写体が暗く撮れてしまうなど、思い通りに撮れない・・・・ということはありませんか？そんなとき、ちょっとした撮影のコツを活用したり、カメラの簡単な機能を使うだけで、問題が解消する場合もあります。
また、撮影後の画像の利用方法に合わせて画像サイズを選択して撮影すると、1 枚のカードにより多くの画像を記録することができます。これも“ちょっとしたコツ”のひとつです。

ピントが合わないとき

カメラは撮影する構図の中で、自動的にピントを合わせるべきものを検出します。被写体を検出する際、コントラストの強さも判断の基準になります。被写体のコントラストが周囲に比べて弱いときや、よりコントラストの強い部分が構図の中にあるときは、カメラは判断を誤る場合があります。その場合のもっとも簡単な対処法にフォーカスロックがあります。

ピント合わせの方法（フォーカスロック）

1 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせます。

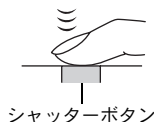
- ピントが合いにくいものや速く走るものの場合、まず撮影したいものとほぼ同じ距離のものにカメラを向けます。

AFターゲットマーク

2 シャッターボタンを緑ランプが点灯するまで押します（半押し）。

- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
- 緑ランプが点滅したときは、ピントと露出が固定されていません。シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。

シャッターボタン

3 半押しの状態のまま撮影したい構図にします。

緑ランプ

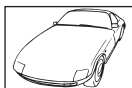
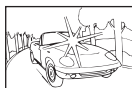
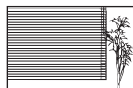
4 シャッターボタンを押し込みます（全押し）。

ヒント

ピントを画面中央で合わせたい

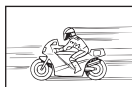
☞「ピントを合わせる範囲を変える（AF方式）」（P.48）

オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

緑ランプ点滅
このようなものにはピントが合いません。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

縦線のないもの

緑ランプは点灯するが、写したいものにピントが合わない。

遠いものと近いものが混在する場合

動きの速いもの

ピントを合わせたいものが中央にない

いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでピントを合わせた後、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてピントを合わせた後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。

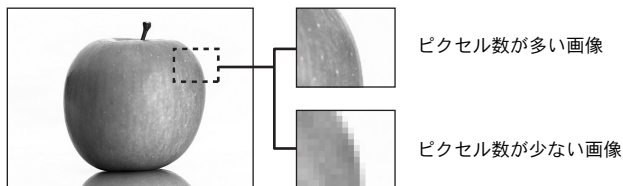
画質について

撮影する画像の画質を設定します。プリント用、パソコンでの加工用、ホームページ用など、用途に合わせて画質モードをお選びください。各画質モードでの画像サイズや撮影可能枚数・時間については、P.25の表をご覧ください。

静止画の画質モード

画質モードは、記録する画像のピクセル数を表しています。
画像はピクセル（点）の集まりでできています。ピクセル数が少ない画像を拡大するとモザイク状に表示されます。ピクセル数が多い画像は1枚の画像のファイルサイズ（データの量）が大きくなり、記録できる枚数が少なくなりますが、密度が高く精細になります。

ピクセル数が多い画像

ピクセル数が少ない画像

画質モード	画像サイズ	使用例
SH スーパーハイ 5M	2560 × 1920	撮影可能枚数は少なく、画像の記録に時間がかかりますが、A4などの大きいサイズできれいにプリントしたり、パソコンでコントラストの調整や赤目補正などの加工を行うのに適しています。
H1 ハイ 3M	2048 × 1536	
H2 ハイ 2M	1600 × 1200	はがき大にプリントするのに適しています。また、パソコンで画像の上に文字を入力したり、画像の回転などの編集を行うのに適しています。
PC PCモニタ 1M	1024 × 768	画質は標準的、画像サイズは小さくなりますが、撮影可能枚数は多くなります。パソコンで画像を見るのに適しています。
Eメール VGA	640 × 480	画質は標準的、画像サイズが小さいので、メールに添付して送信するのに便利です。

画像サイズ

画像を記録する際の大きさ（横の画素数×縦の画素数）です。画像をプリントするときは、大きな画像サイズで記録しておくときれいにプリントされます。ただし、画像サイズが大きくなるほどファイルサイズ（データの量）も大きくなり、記録できる枚数は少なくなります。

ムービーの画質モード

Motion-JPEG形式でムービーを記録します。
［スタンダード］は見やすい画像サイズで記録できますが、撮影できる時間は短くなります。［ロングプレイ］は撮影時間は長くなりますが、画像は粗くなります。

撮影可能枚数・撮影可能時間

静止画の場合

画質モード	画像サイズ	撮影可能枚数（枚）			
		内蔵メモリ		カード（32MBの場合）	
		音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
SH スーパーハイ 5M	2560 × 1920	10	10	25	26
H1 ハイ 3M	2048 × 1536	15	16	39	41
H2 ハイ 2M	1600 × 1200	23	25	60	64
PC PCモニタ 1M	1024 × 768	41	45	104	117
✉ Eメール VGA	640 × 480	86	111	221	284

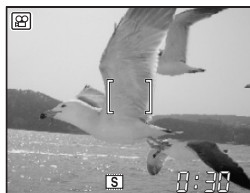
ムービーの場合

画質モード	画像サイズ	撮影可能時間（秒）			
		内蔵メモリ		カード（32MBの場合）	
		音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
S スタンダード	320 × 240（15コマ／秒）	36	37	93	96
L ロングプレイ	160 × 120（15コマ／秒）	146	166	374	424

ヒント

- 撮影した画像をパソコン上で見る場合に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。たとえば、1024 × 768 ピクセルの画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が1024 × 768のとき画像を等倍（100％）で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上（1280 × 1024など）になると、モニタの一部にしか表示されません。

ご注意

- 撮影可能枚数、撮影可能時間はおおよその目安です。

撮影可能枚数

撮影可能時間

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約やアルバム登録の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行っても枚数が変わらないことがあります。

画質モードを変更する

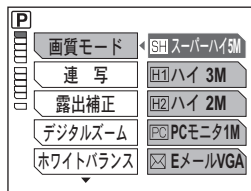
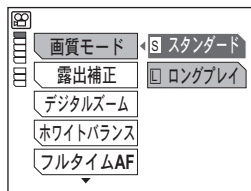
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［画質モード］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 **画質モードを［SHスーパーハイ 5M］［H1ハイ 3M］［H2ハイ 2M］［PCPCモニタ 1M］［✉Eメール VGA］から選択します。**

静止画の場合

ムービーの場合は、画質モードを［Sスタンダード］［Lロングプレイ］から選択します。

画質モード
露出補正
デジタルズーム
ホワイトバランス
フルタイムAF
S スタンダード
L ロングプレイ

ムービーの場合

2 **OKを押します。**

内蔵メモリとカードについて

撮影した画像はカメラの内蔵メモリに記録されます。
また、別売のxD-ピクチャーカード（以降カードと呼びます）に記録することもできます。カードを使うと内蔵メモリより多くの画像を記録しておくことができます。旅行などで枚数をたくさん撮影するときは、カードを使用すると便利です。

●内蔵メモリについて

内蔵メモリは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。
内蔵メモリに記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工することができます。内蔵メモリはカメラから取り出したり、交換したりすることはできません。

●内蔵メモリとカードの関係

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、液晶モニタの表示で確認できます。

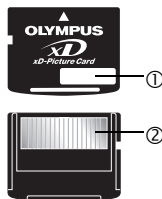
使用メモリ表示

液晶モニタ表示	撮影モードのとき	再生モードのとき
［IN］	内蔵メモリに記録されます。	内蔵メモリ内の画像を再生しています。
［xD］	カードに記録されます。	カード内の画像を再生しています。

- 内蔵メモリとカードを同時に使用することはできません。
- カードが入っていると、内蔵メモリへ記録・再生はできません。内蔵メモリを使用するときは、カードを抜いてください。
- 内蔵メモリに記録された画像をカードにコピーすることができます。☞「内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）」（P.78）

カードについて

カードとは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。
カードに記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工したりすることができます。容量の大きなカードに交換すると記録できる枚数を増やすことができます。

① インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入できます。
② 接触面（コンタクトエリア）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。

使用できるカード

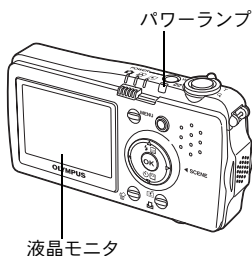
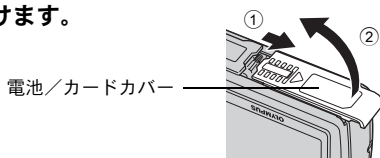
xD-ピクチャーカード（16～512MB ）

ご注意

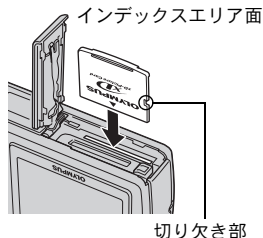
- オリンパス製以外の市販のカードや、パソコンなどの他の機器でフォーマットしたカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。☞「メモリ／カードを初期化する（メモリフォーマット／カードフォーマット）」（P.80）

カードを入れる／取り出す

1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

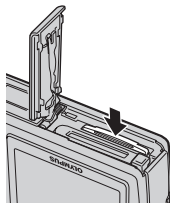
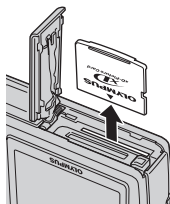
- パワーランプが消灯している。
- 液晶モニタが消灯している。
- レンズバリアが閉じている。

2 電池／カードカバーを開けます。

●カードを入れる

3 カードの向きを図のように正しく合わせて入れます。

- カードが斜めに入らないようにまっすぐに差し込みます。
- カードを奥まで差し込むとカチッという音がします。
- カードの向きを間違えたり、斜めに入れた場合、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
- カードが奥まで挿入されていないと、カードに記録できなくなることがあります。

●カードを取り出す

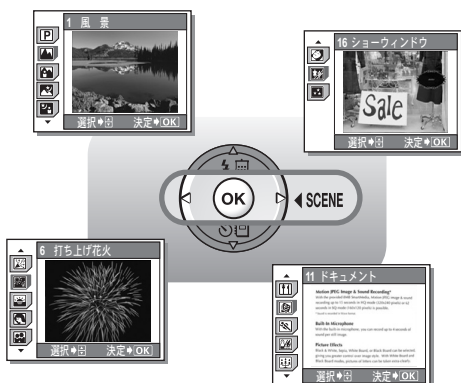
3 カードを一度奥に向かって押しこんで、そのままゆっくり戻します。

- カードが手前に出て止まります。

> **注意**
> カードを取り出す際にカードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

- カードをつまんで取り出します。

4 電池／カードカバーを閉じます。

基本的な撮影機能

3

カメラマンは被写体に合わせて、露出の調整やピントの合わせ方、フィルムの選択などを常に考慮した上でより最適な設定で撮影しています。
デジタルカメラで撮るあなたは難しい設定を覚える必要はありません。デジタルカメラには被写体にあわせた設定がすでに用意されています。風景、夜景、ポートレートなど、あなたが撮りたい！　と思うものに合わせた撮影シーンを選ぶだけで、最適な露出や色合いをカメラが設定してくれます。
さあ、あなたはシャッターボタンを押すだけです。

撮影したいものに合わせて設定する

撮影シーンや撮影状況に合わせて選択すると、カメラが自動的に撮影に適した条件を設定します。

● SCENEの種類

P-AUTOプログラムオート

通常の撮影に使用します。自然な色合になるようにカメラが自動的に設定します。

風景

風景を撮影するのに最適です。青・緑の色をきれいに再現します。

風景＆人物

風景を背景にした人物を撮影するのに最適です。青・緑・肌の色をきれいに再現します。

夜景*

夜景を撮影するのに最適です。通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。シャッター速度が遅くなります。手振れにご注意ください。

夜景＆人物*

夜景を背景に人物を撮影するのに最適です。通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。
シャッター速度が遅くなります。手振れにご注意ください。

パーティショット

パーティなどで人物を撮影するのに最適です。背景の雰囲気もきれいに再現されます。

打ち上げ花火*

夜空の花火を撮影するのに最適です。通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。
シャッター速度が遅くなります。手振れにご注意ください。

夕日*

夕日を撮影するのに最適です。赤・黄の色を鮮やかに再現します。
フラッシュは使用できません。手振れにご注意ください。

ポートレート（人物）

人物を撮影するのに最適です。肌の質感を強調します。

セルフポートレート

撮影者がカメラを持ち自分を撮影するのに最適です。

料理

料理を撮影するのに最適です。料理の色合いをはっきりと再現します。

ドキュメント

書類や時刻表を撮影するのに最適です。文字と背景の明暗をはっきりと再現します。
フラッシュは使用できません。手振れにご注意ください。

スポーツ

動きのある被写体を撮影するのに最適です。動いている被写体も止まっているように撮影します。

ビーチ&スノー

晴天の海や雪山で撮影するのに最適です。空・緑・人物をきれいに再現します。

キャンドル*

キャンドルライトをいかした雰囲気のある画像を撮影するのに最適です。温かみのある色が再現されます。
フラッシュは使用できません。手振れにご注意ください。

寝顔*

薄暗い場所でフラッシュを発光させない撮影に最適です。
フラッシュは使用できません。手振れにご注意ください。

ショーウィンドウ

ガラス越しの被写体を撮影するのに最適です。

鮮やかオート（VIVID）

色を鮮やかに強調します。自然な色のP-AUTO（プログラムオート）と使いわけができます。

* 被写体が暗いときはノイズリダクションが自動的に働きます。そのときは撮影時間が通常の2倍になり、その間次の撮影はできません。また画像が通常より少し拡大されます。

1 ▷SCENEを押します。

☞「ダイレクトボタンの使い方」（P.12）

- シーン選択画面が表示されます。
- ◁を押して表示することもできます。

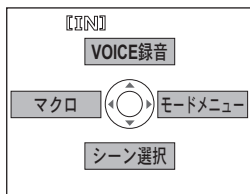
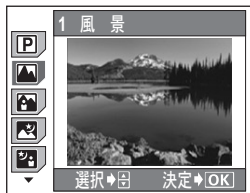
2 △▽を押してシーンを選択し、OKを押します。

- シーンを選択すると、各シーンの撮影例が表示されます。

3 撮影します。

ヒント

- **MENU** ボタンを押してトップメニューを表示して［シーン選択］を選択し、シーンを設定することもできます。

3 基本的な撮影機能

ズームを使った撮影（拡大・接写）

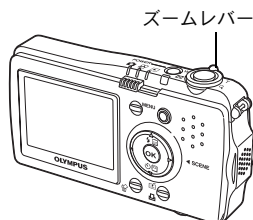
光学ズームとデジタルズームを使用して望遠の撮影ができます。光学ズームは、レンズの倍率を変えることによってCCDに拡大された像が写り、CCDの画素がすべて画像になります。デジタルズームは、CCDに写っている像の中心部分を切り出し、設定した画像サイズまで拡大します。小さいサイズを切り出して拡大するので、デジタルズームでの拡大率が大きくなるほど画像は粗くなります。

このカメラで可能なズームの倍率は以下のとおりです。

光学ズーム　3倍（35mmカメラ換算：38mm～114mm）
光学+デジタルズーム　最大約12倍

高倍率になるほど手ぶれが起こりやすくなりますのでご注意ください。

拡大して撮影する

1 ズームレバーを回します。

広角：
ズームレバーをW側に回す

望遠：
ズームレバーをT側に回す

ご注意

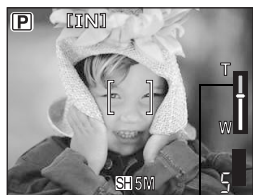
- ムービー録音をオフに設定すると、🎥モードで撮影中に光学ズームを使用することができます。☞「ムービー録音」（P.42）

デジタルズームを使うには

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［デジタルズーム］▶［オン］／［オフ］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ズームレバーを T 側に回します。

光学ズーム

デジタルズーム

ズームバーの白い部分が光学ズームの領域です。デジタルズームが設定されると、ズームバーに赤い領域が表示されます。光学ズームで最大までズームアップすると、デジタルズームになります。

ズームの拡大率によってカーソルが上下に移動します。
デジタルズームの領域に入るとカーソルがオレンジになります。

ご注意

- デジタルズームの領域で撮影すると、画像が粗くなることがあります。

マクロ／スーパーマクロを使う

通常の撮影では、近接した被写体（広角側：10～30cm、望遠側：50～60cm）にピントを合わせるのに時間がかかりますが、マクロモードにすると、近接撮影のピント合わせが早くなります。

マクロ	被写体に10cmまで接近して撮影できます。
スーパーマクロ	被写体に約5cmまで接近して撮影できます。スーパーマクロは通常の撮影距離にも対応しますが、ズーム位置は自動的に固定されて変更はできません。

マクロ

スーパーマクロ

トップメニュー ▶［マクロ］　☞「メニューの操作方法」（P.18）

1　［マクロ］または［スーパーマクロ］を選択し、OKを押します。

2　撮影します。

ご注意

- スーパーマクロ撮影では、ズーム、フラッシュは使用できません。

3 基本的な撮影機能

フラッシュ撮影

撮影状況や目的に合わせてフラッシュの設定を選びます。フラッシュの発光量を補正することもできます。

フラッシュの到達距離
広角時：約30cm～2.6m
望遠時：約50cm～2.1m

オート発光（表示なし）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。

ソフト発光（(⚡)）

フラッシュの発光を通常より弱くしてあります。オート発光や強制発光では明るくなりすぎるときに使うと効果的です。

赤目軽減（◉）

暗い場所でフラッシュを使って人物を撮影するとき、目が赤く写る現象を軽減します。本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。

目が赤く写ります

ご注意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合などや個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

強制発光（⚡）

フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときに使用します。

ご注意

- 非常に明るい状況下では、効果が現れにくくなることがあります。

発光禁止（⚡）

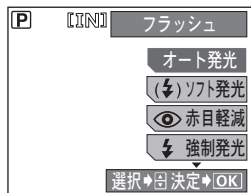
暗いところでも発光させたくないときに使用します。フラッシュを使用できない場所での撮影に使用します。フラッシュが届かない遠景・夕景を撮りたいときにも使用します。

ご注意

- 暗いところの撮影ではシャッター速度が長くなりますので、カメラぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

1　△⚡を押します

☞「ダイレクトボタンの使い方」（P.12）

2　フラッシュモードを選択し、ⓞⓚ を押します。

3　シャッターボタンを半押しします。

- フラッシュが発光する条件のときは、⚡マークが点灯します（フラッシュ発光予告）。

4　シャッターボタンを全押しして、撮影します。

ヒント

⚡（フラッシュ充電）マークが点滅した

→ フラッシュ充電中です。⚡マークが消灯するまでお待ちください。

ご注意

- 以下の場合、フラッシュは使用できません。
  連写／スーパーマクロ撮影／パノラマ撮影／
  SCENEで、、、に設定されている場合
- マクロ撮影でズームが W（広角）側にあるときは、特に画面内で光の量がムラになることがあります。必ず再生して画像を確認してください。

ムービー撮影

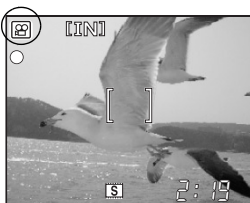
ムービー（動画）を撮影します。

1 構図を決めます。

- 撮影可能時間が液晶モニタに表示されます。
- ズームレバーで被写体を拡大できます。

撮影可能時間

2 シャッターボタンを全押しして撮影を始めます。

- 音声も同時に記録されます。
- セルフタイマー／カードアクセスランプが点滅し、画像の記録が始まります。
- ムービー撮影中はマークが赤く点灯します。

3 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

- 撮影可能時間が0になると、自動的に撮影を終了します。
- 内蔵メモリまたはカードに空き容量がある場合は、撮影可能時間（☞P.25）が表示され、次の撮影ができます。

ヒント

撮影中、常に被写体にピントを合わせたい

→［ムービー録音］を［オフ］に設定して、［フルタイムAF］を［オン］に設定します。☞「フルタイムAF」（P.42）、「ムービー録音」（P.42）

撮影中、ズームを使いたい

→［デジタルズーム］を［オン］に設定します。☞「デジタルズームを使うには」（P.36）

→［ムービー録音］を［オフ］に設定すると、撮影中も光学ズームが使用できます。☞「ムービー録音」（P.42）

ご注意

- 撮影中、撮影可能時間が急激に減ることがあります。この場合は、このカメラで内蔵メモリまたはカードをフォーマットしてから使用してください。☞「メモリ／カードを初期化する（メモリフォーマット／カードフォーマット）」（P.80）
- モードでは、フラッシュは使用できません。

手振れ補正

ムービー撮影時の手振れによる画像の揺れを軽減します。
被写体の動きに応じてCCD上で画像を取り込む範囲を動かし、被写体のブレを軽減して記録します。[手振れ補正]を[オン]にすると、少し拡大されて撮影されます。

トップメニュー ▶［手振れ補正］▶［オフ］／［オン］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 撮影します。

手振れ補正中に表示されます。

ご注意

- 手振れが大きいときや被写体の動きによっては、補正できないことがあります。
- カメラを固定して撮影するときは、［手振れ補正］を［オフ］にしてください。被写体の動きにあわせて、画面が動いてしまうことがあります。

フルタイムAF

フルタイムAFを［オン］に設定すると、ムービー撮影中は自動的に被写体にピントを合わせつづけます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［フルタイムAF］▶［オン］／［オフ］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

ご注意

- フルタイムAFを設定しているときは、電池の消耗が早くなります。
- ［ムービー録音］と［フルタイムAF］を同時に［オン］に設定することはできません。

ムービー録音

ムービー撮影と同時に音声を録音します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［ムービー録音］▶［オン］／［オフ］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

ご注意

- ［ムービー録音］を［オン］に設定すると、ムービー撮影中は、ピントと光学ズームが固定されます。ムービー撮影中にズームを使いたいときは、［デジタルズーム］を［オン］に設定してください。［ムービー録音］を［オフ］に設定すると、ムービー撮影中、光学ズームとデジタルズームの両方が働きます。
- 録音対象がカメラから1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。

連続して撮影する（連写）

静止画を連続して撮影します。最初の1コマでピント、明るさ（露出）、ホワイトバランスが設定されます。画質モードが［スーパーハイ 5M］の場合、約4コマ連続撮影できます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［連写］▶［オフ］／［オン］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 撮影します。

- シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指をはなすと連写は止まります。

ご注意

- 以下の場合、連写はできません。
  パノラマ撮影／合成ツーショット／フレーム合成撮影／
  SCENEで 、 、 、 、 、 に設定されている場合
- 連写撮影時は、フラッシュは使用できません。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止して記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。

いろいろな撮影機能

プロ並みの撮影…？
画像の明るさを変える、色合いを調整する、被写体によってピントを合わせる範囲を変えるなど、大満足の写真が撮れるはず。

大自然でも観光地でも…
美しい山並みや壮大な建築物をパノラマ撮影でワイドに撮ってみましょう。

仲間が集まったら…
同窓会、ホームパーティなどのイベントでもセルフタイマーを使えば全員で集合写真を撮ることができます。

凝った写真をメニューひとつで…
合成ツーショット撮影やフレーム合成撮影など、あそび心いっぱいの撮影ができます。

画像の明るさを変える（露出補正）

露出を手動で微調整します。1/2EV刻みで±2.0EVの範囲で設定できます。露出を補正した結果は液晶モニタで確認できます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［露出補正］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1　△▽を押して調整し、Ⓞを押します。

- プラス［＋］で明るく、マイナス［－］で暗くなります。

2　撮影します。

ヒント

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、＋に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に－に補正すると効果的です。
- 撮影する被写体によっては、カメラが自動的に設定した露出を補正したほうがよいときがあります。

ご注意

- フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。
- 撮るものの周囲が極端に明るいときや極端に暗いときは、露出補正で補正しきれないときがあります。

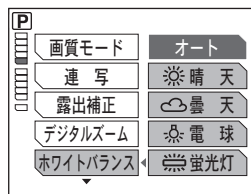
画像の色合いを調整する（ホワイトバランス）

被写体は光源によって色が変わります。たとえば、白い紙に晴天時の太陽があたっているとき、夕日があたっているとき、電球の灯りがあたっているときでは、それぞれの白が異なります。ホワイトバランスを調整することにより、このような光源による微妙な色の違いを見たままの色に表現することができます。

オート　光源によらず、自然な色合いで写るよう自動的に調整します。
晴天（☼）　晴れた屋外で自然な色に写ります。
曇天（☁）　曇った屋外で自然な色に写ります。
電球（💡）　電球の灯りで自然な色に写ります。
蛍光灯（蛍光灯マーク）　蛍光灯の灯りで自然な色に写ります。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［ホワイトバランス］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ホワイトバランスを選択し、OK を押します。

ヒント

- 実際の光源とは異なるホワイトバランスを選択し、その設定を液晶モニタで確認すると、様々な色調が楽しめます。

ご注意

- 特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
- オート以外のホワイトバランスに設定して撮影した場合、画像を再生して色を確認してください。
- オート以外のホワイトバランスに設定してフラッシュを発光した場合、液晶モニタで見た色と異なった色で撮影されることがあります。

明るさを測る範囲を変える（測光）

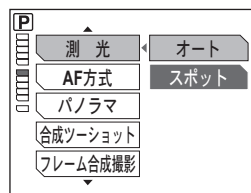
逆光で撮影すると、人物の顔などが暗く写ることがあります。この場合、スポット測光に変更すると、背景の光に影響されることなく、画面中央部の明るさに合わせて撮影できます。

オート　画面の中央と周辺を個別に測光して画面全体でバランスのとれた撮影を行います。強い逆光では、中央が暗く撮影されることがあります。

スポット　画面中央のみを測光するので、逆光での中央の被写体を撮るのに適しています。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［測光］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1　**［オート］または［スポット］を選択し、Ⓞを押します。**

ピントを合わせる範囲を変える（AF方式）

被写体の焦点を合わせる方式を選択します。

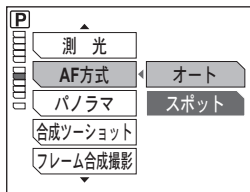
オート　画面の範囲内からピントを合わせる被写体を判断します。被写体が中央にない場合もピントは合います。
スポット　AFターゲットマーク内の被写体にピントを合わせます。

オートに適した被写体

スポットに適した被写体

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［AF方式］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1　**［オート］または［スポット］を選択し、㊎を押します。**

セルフタイマー撮影

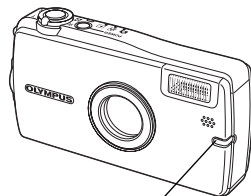
セルフタイマーを使って撮影します。カメラを三脚にしっかり固定して撮影してください。記念写真などを撮るときに便利です。

1 ▽を押します。

☞「ダイレクトボタンの使い方」(P.12)

2 ［オン］を選択し、OKを押します。

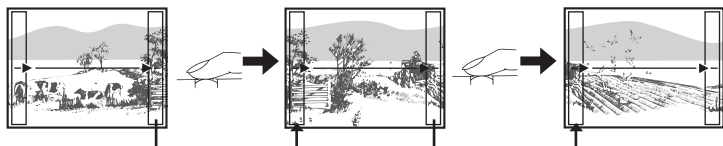
3 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

- ピントと露出はシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。
- セルフタイマー／カードアクセスランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。
- ムービー撮影の場合、再度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了してください。
- 作動中のセルフタイマーを中止するには、▽を押します。
- セルフタイマーモードは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。

セルフタイマー／カードアクセスランプ

ご注意

- セルフタイマー撮影で連写をすると、設定にかかわらず最大5コマ撮影されます。

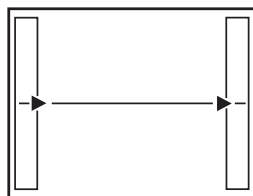
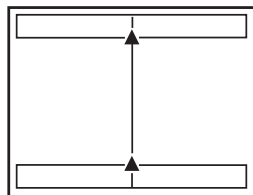
パノラマ撮影

当社製のxD-ピクチャーカードを使うと、パノラマ撮影が簡単に楽しめます。被写体の端が重なるようにして撮影した何枚かの画像を、OLYMPUS Master（付属のCD-ROMに収録）でつなぎ合わせ、1枚のパノラマ合成画像を作成することができます。

端の枠に、前に撮影した画像の合わせるべき部分は残っていません。撮影時には、この枠の画像を覚えていて、次のコマの枠の画像と同じになるように撮影してください。前に撮影した画像の右端（左回りのときは左端）は、次の画像の左端（左回りのときは右端）と同じ画像が撮影できるように構図を設定して撮影してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［パノラマ］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 十字ボタンでつなげる方向を指定します。

- ▷ ：次の画像を右につなげます。
- ◁ ：次の画像を左につなげます。
- △ ：次の画像を上につなげます。
- ▽ ：次の画像を下につなげます。

左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合

下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合

2　被写体の端が重なるように撮影します。

- ピント・露出・ホワイトバランスなどは、1枚目で決定されます。1枚目に太陽などの光の強い被写体を入れた撮影などをしないでください。
- 1枚目を撮影した後は、ズーム操作はできません。
- 最大10枚までパノラマ撮影が可能です。
- 10枚撮り終わると警告マークが表示されます。

3　パノラマ撮影を終了するには、Ⓞを押します。

ご注意

- パノラマ合成機能付きのカード以外でパノラマ撮影はできません。
- パノラマ撮影中はフラッシュ、セルフタイマー、連写、スチル録音は使用できません。
- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。パノラマ合成画像を作成する場合は、OLYMPUS Masterをご使用ください。

合成ツーショット撮影

2回続けて撮影した画像を合成して、1枚の画像として保存します。別々の被写体を1枚の画像にして楽しむことができます。

再生時の画面

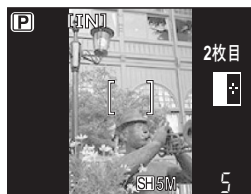
トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [合成ツーショット]

☞「メニューの操作方法」(P.18)

1 液晶モニタを見ながら1枚目を撮影します。

- 撮影した被写体は合成時には左側に配置されます。

2 続けて2枚目を撮影します。

- 撮影した被写体は合成時には右側に配置されます。
- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、撮影モードに戻ります。

撮影時の画面

ご注意

- 合成ツーショット撮影中は、パノラマ撮影、連写、スチル録音は使用できません。
- 1枚撮影後、合成ツーショットを中止したいときは㊋を押してください。1枚目に撮影した画像は記録されません。
- 1枚撮影後にスリープモードに入ると、合成ツーショット撮影は解除されます。

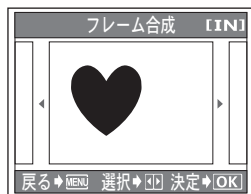
フレーム合成撮影

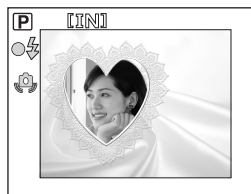
カメラに用意されたフレームにあわせて撮影します。フレームと撮影した画像が合成されて保存されます。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [フレーム合成撮影]

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 フレームの種類を選択し、㊙ を押します。

- 選択したフレームが表示され、フレーム合成撮影ができる状態になります。

2 撮影します。

- 選択したフレームと撮影した画像が合成されて表示されます。画像を確認して撮影しなおす場合は、そのまま再度撮影します。

3 ㊙を押します。

- フレーム合成撮影を終了します。

ご注意

- フレーム合成撮影時は、連写、スチル録音は使用できません。
- 画質モードが［SHスーパーハイ5M］、［H1ハイ3M］では、フレーム合成撮影はできません。

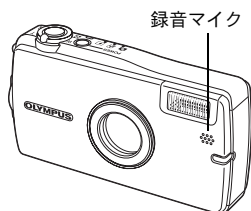
撮影中に音声を録音する（スチル録音）

静止画撮影時に音声を録音します。シャッターが切れてから約0.5秒後に録音を開始し、約4秒間録音します。
スチル録音をオンに設定すると、撮影後、毎回自動的に録音します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［スチル録音］▶［オン］／［オフ］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 撮影します。

- シャッターボタンを押して録音が始まったら、カメラのマイクを録音する対象に向けます。

ヒント

- スチル録音／ムービー録音した画像は再生したときに液晶モニタに［♪］が表示されます。録音した画像を再生すると、音声がスピーカから出力されます。音量は調節することができます。☞「カメラの音に関する設定を行う」（P.98）
- 静止画再生中に、音声をあとから録音することができます。また、録音済みの音声を録音し直すこともできます。☞「撮った画像に音声を録音する（録音）」（P.64）

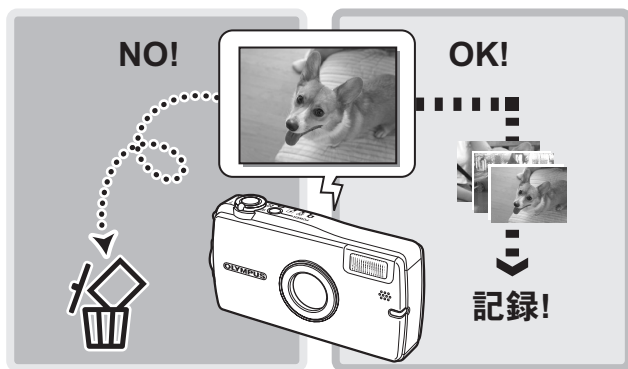
ご注意

- 録音対象がカメラから1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音中は撮影ができません。
- 以下の場合は、録音できません。
  連写／パノラマ撮影／合成ツーショット撮影／フレーム合成撮影
- 録音中にボタン操作などを行うと、その音が録音されてしまうことがあります。
- 内蔵メモリまたはカードの空き容量が不足している場合は、録音できないことがあります。

いろいろな再生機能

5

フィルムを使うカメラでは、撮影した写真は現像するまで見ることができません。できあがった写真を見て失敗作！とがっかりしたことはありませんか？　ボケた風景写真や目をつぶってしまった写真。ちゃんと撮れたか自信がなくて何度も同じような写真を撮ってしまったり。これでは、大切な思い出を安心して記録することができませんね。
デジタルカメラではどうでしょう。デジタルカメラなら撮影後すぐに再生できます。シャッターボタンを押したら、その場で撮った画像を確認しましょう。うまく撮れなかったら、その場で消してしまえばよいのです。さあ、失敗を恐れず、どんどんシャッターボタンを押しましょう！

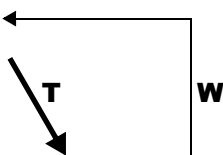
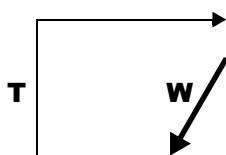
静止画の再生

カードを入れているときは、カードの画像が再生されます。内蔵メモリの画像を再生するときは、カードを抜いてください。

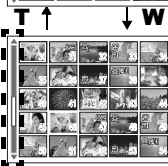
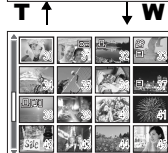
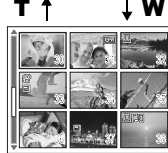
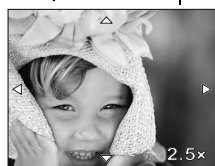
- 液晶モニタに最後に撮影した画像が表示されます（1コマ再生）。
- 十字ボタンで見たい画像を切り換えることができます。

1 ズームレバーをT側またはW側に回します。

- 画像を拡大して表示（クローズアップ再生）したり、複数の画像を一覧表示（インデックス再生）したりできます。

T側に回すと1コマ表示に戻る

W側に回すと1コマ表示に戻る

インデックス再生

- 音声ファイルやムービーの再生ができます。十字ボタンで再生するコマに移動して㊙を押します。
- ズームレバーを回して、インデックス分割数を4分割、9分割、16分割、25分割に変更することができます。
- ◁▷を押すとスクロールバー内に移動します。スクロールバー内で△▽を押すと液晶モニタに表示されていないインデックスを表示することができます。

クローズアップ再生

- T側に回すと5倍まで拡大表示されます。
- クローズアップ再生中に十字ボタンを押すと、その方向に画像がスクロールします。
- 拡大した状態で画像を保存することはできません。

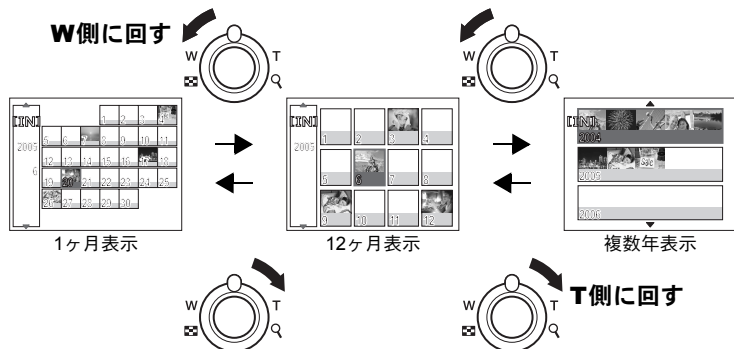
スクロールバー

画像をカレンダー表示する（カレンダー再生）

撮影した画像をカレンダー形式で再生します。静止画やムービーを撮影すると、撮影した日付ごとにカメラが自動的に画像をカレンダーに登録します。
正しい日時でカレンダー表示するためには、撮影前にカメラで日時の設定をする必要があります。☞「日付・時刻を設定する（日時設定）」（P.101）

1 1コマ再生で△📅を押します。

- カレンダー再生モードになり、カレンダーが1ヶ月表示されます。

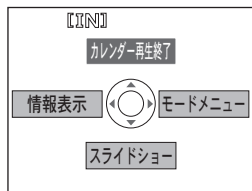
2 ズームレバーを回してカレンダー表示を切り換えます。

- 十字ボタンで日、月、年の各項目を選択します。
- ⓞボタンを押して1コマ表示します。

●カレンダー再生モードを終了するには

1 MENUボタンを押します。

- カレンダー再生モードのトップメニューが表示されます。

2 △を押して［カレンダー再生終了］を選択します。

- 通常の再生モードに戻ります。

画像を回転させる（回転表示）

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような横向きの画像を回転して縦向きに表示します。反時計方向に90度、時計方向に90度の回転ができます。

回転再生する画像を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [回転表示] ▶ [+90°]／[0°]／[-90°]

☞「メニューの操作方法」（P.18）

- 画像が反時計方向に90度、または時計方向に90度回転します。

+90°　　0°　　-90°

ご注意

- 次の画像は回転再生できません。
  ムービー／プロテクトされた画像／アルバム登録された画像／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像
- 電源を切っても、画像が回転された状態は記録されます。

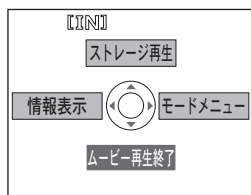
ムービーの再生

ムービーを再生します。早送りやコマ送り再生をすることができます。

1 **再生するムービーを選択し、㊀を押します。**

- 再生が終了すると元の再生モードに戻ります。

●再生中のムービーを終了するには

MENU ボタンを押してトップメニューを表示し、▽を押して［ムービー再生終了］を選択します。

●ムービー再生中の操作

ムービー録音した画像は液晶モニタに[♪]が表示されます。△▽を押して、再生中に音量を調節することができます。

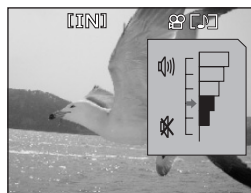
△ ：音量を大きくします。
▽ ：音量を小さくします。
▷ ：押している間、再生速度が2倍になります。
◁ ：逆再生します。押している間、逆再生の速度が2倍になります。
㊀ ：一時停止します。

●一時停止中の操作

コマ送りができます。

△ ：先頭のコマを表示します。
▽ ：末尾のコマを表示します。
▷ ：次のコマを表示します。
◁ ：前のコマを表示します。
㊀ ：選択したコマから再生を再開します。

再生時間/録画時間

5 いろいろな再生機能

ご注意

- セルフタイマー／カードアクセスランプが点滅しているときは、画像の読み出しが行われています。画像の読み出しには時間がかかることがあります。セルフタイマー／カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。

ムービーの再生開始位置を選ぶ（インデックスジャンプ）

ムービーを時間で分割したインデックス表示して、再生したいコマからムービーを再生します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［インデックスジャンプ］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 **△▽◁▷を押してコマを選択します。**

- ズームレバーを回して、分割数を変更することができます。

2 **Ⓞを押します。**

- 選択したコマからムービーの再生が始まります。

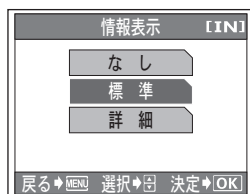
画面に表示する情報量を切り換える（情報表示）

再生時の画像情報を切り換えます。

詳細　　　　　　　標準　　　　　　　なし

トップメニュー ▶［情報表示］　　　☞「メニューの操作方法」（P.18）

1　**［なし］［標準］［詳細］から選択し、㊋を押します。**

- ［標準］または［詳細］を選択すると、約3秒間、情報が表示されます。

ご注意

- このカメラ以外で撮影した画像は、日時、コマ番号、電池残量表示以外は表示されません。

スライドショー

内蔵メモリまたはカードに記録されている静止画像を1枚ずつ自動的に再生します。画像が切り換わる際の効果を9種類から選択することができます。ムービーコマは、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。静止画の音声以外の音声は再生されません。

標準
画像を1コマずつ再生します。

スクロール
次の画像をスクロールしながら再生します。次の画像は右から現れて、前の画像は左へ消えていきます。

フェード
現在の画像に重なるようにして、次の画像が徐々に浮かび上がって表示されます。現在の画像は徐々に消えていきます。

ズームダウン
現在の画像は、画面の中心に向けて、徐々に画像サイズを小さくして表示されます。次の画像は、画面の中心から徐々に画像サイズを大きくしながら表示されます。

ズームアップ
現在の画像は、画像の中心を拡大しながら消えていきます。次の画像は、画像の中心を拡大した状態で表示され、徐々に標準のサイズで表示されていきます。

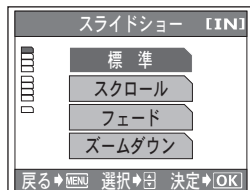
モザイク
次の画像をモザイク状で表示します。モザイクは徐々に消えて、画像が表示されていきます。

ブラインド
現在の画像の上に、次の画像がブラインド状になって表示されます。

キューブスピン
現在の画像と次の画像が隣り合わせで縮小、拡大しながら表示されます。現在の画像は左側に縮小され、次の画像は右側に拡大しながら表示されます（キューブが回転しているように見えます）。

ランダム
スクロール、フェード、ズームダウン、ズームアップ、モザイク、ブラインド、キューブスピンの中から、カメラがランダムに選択して、1コマごとに異なるスライドショーで表示します。

トップメニュー ▶［スライドショー］ ☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 スライドショーの種類を選択し、Ⓞを押します。

2 カレンダー再生モードの場合は、スライドショーを行う対象を選択します。

全コマ すべての画像が対象になります。

日付内全コマ 選択している日付内の画像が対象になります。

- カレンダー再生モードまたはストレージ再生モードのみ［日付内全コマ］を選択することができます。☞「ストレージの画像を再生する」（P.107）

3 Ⓞを押します。

- スライドショーがスタートします。
- スライドショーの再生中、◁を押すと前のコマ、▷を押すと次のコマを表示することができます。

4 ⓄまたはMEMUボタンを押します。

- スライドショーが終了し、１コマ表示に戻ります。

? ヒント

- インデックス表示中はインデックス表示の状態でスライドショーが行われます。◁▷は操作できません。
- カレンダー再生モードでは、1コマ表示で日付内の画像のスライドショーが行われます。
- スライドショーの1コマの再生時間は、音声が録音された画像の場合は1コマ約5秒間、画像のみの場合は1コマ約3秒間です。

! ご注意

- 長時間スライドショーを行う場合は、ACアダプタのご使用をおすすめします。電池をお使いの場合、30分経過するとスリープモード（待機状態）になり、自動的にスライドショーが終了します。

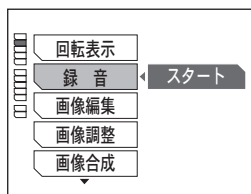
撮った画像に音声を録音する（録音）

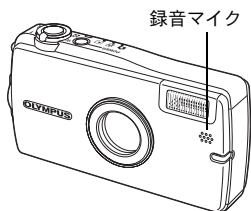
撮影済みの静止画に音声を録音（アフレコ）します。また、録音済みの音声を新たに録音し直すこともできます。録音できる時間は1画面につき約4秒間です。

音声を録音したい静止画を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［録音］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1　▷ を押すと［スタート］が表示されます。

2　カメラの録音マイクを録音したい対象に向けて ㊇ を押すと、録音が開始されます。

- 録音中を示すバーが表示されます。

ご注意

- 録音対象がカメラから約1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音済みの画像に再度録音した場合は、前の音声が消えて新しい音声のみ残ります。
- 内蔵メモリまたはカード残量がない場合は、録音できないことがあります。
- 録音中にボタン操作をすると操作音が録音されることがあります。
- 一度録音したら音声のみを消すことはできません。音声を入れず（無音状態）再録音してください。

画像編集（モノクロ／セピア／リサイズ／トリミング）

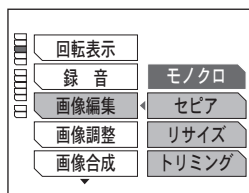
撮影した静止画を編集して別の画像として保存します。以下の編集を行うことができます。

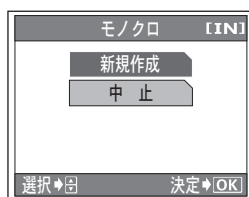
モノクロ　白黒の別の画像として保存します。
セピア　セピア色の別の画像として保存します。
リサイズ　画像サイズを 640 × 480、または 320 × 240 に変更し、別の画像として保存します。
トリミング　画像の一部を切り出して、別の画像として保存します。

編集する画像を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［画像編集］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ［モノクロ］［セピア］［リサイズ］［トリミング］から選択し、㊙を押します。

2 ●［モノクロ］［セピア］を選択した場合

［新規作成］を選択し、㊙を押します。

［モノクロ作成］の場合

●［リサイズ］を選択した場合

［640 × 480］または［320 × 240］を選択し、㊙を押します。

●［トリミング］を選択した場合

① トリミングの位置と大きさを調整します。

△▽◁▷	画像の位置を調整します。
ズームレバー	画像の大きさを調整します。

② Ⓞを押します。
③［新規作成］を選択し、Ⓞを押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

ご注意

- 次の場合は［モノクロ］［セピア］［リサイズ］［トリミング］はできません。
  内蔵メモリまたはカードの空き容量が不足している／ムービー／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像
- トリミングした画像を印刷した場合、粗くなることがあります。

画像調整（赤目補正／明るさ調整／鮮やかさ調整）

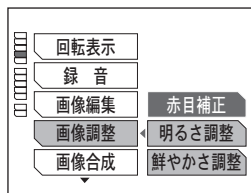
撮影した静止画を補正、調整して別の画像として保存します。以下の補正、調整を行うことができます。

赤目補正　人物をフラッシュ撮影すると目が赤く写ることがありますが、これを補正して、別の画像として保存します。
明るさ調整　画像の明るさを調整して、別の画像として保存します。
鮮やかさ調整　画像の色の濃さを調整して、別の画像として保存します。

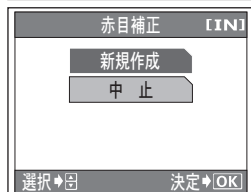
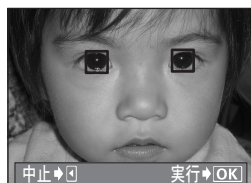
補正、調整する画像を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▸［モードメニュー］▸［画像調整］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 **［赤目補正］［明るさ調整］［鮮やかさ調整］から選択し、㊀を押します。**

2 **●［赤目補正］を選択した場合**

- 赤目補正する部分が青い枠で囲まれた画像が表示されます。
- 青い枠が表示されない場合は、補正されません。

①　［新規作成］を選択し、㊀を押します。

●［明るさ調整］［鮮やかさ調整］を選択した場合

①　△▽で明るさ、鮮やかさを調整します。

②　㊀を押します。

③　［新規作成］を選択し、㊀を押します。

［鮮やかさ調整］の場合

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

ご注意

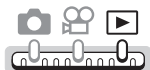
- 次の場合は［赤目補正］［明るさ調整］［鮮やかさ調整］はできません。
  内蔵メモリまたはカードの空き容量が不足している／ムービー／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像

5 いろいろな再生機能

画像合成

撮影した静止画をカメラで用意されているフレームやタイトル、カレンダーと合成して別の画像として保存します。また複数の画像を選択したレイアウトで別の画像として保存します。以下の画像合成を行うことができます。

フレーム合成	フレームを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。
タイトル合成	タイトルを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。
カレンダー合成	カレンダーを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。
レイアウト合成	通常の再生の他、アルバム再生やカレンダー再生で複数の画像を選択してレイアウト合成し、別の画像として保存します。

フレーム合成

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［画像合成］▶［フレーム合成］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 **◁▷でフレームを選択し、Ⓞを押します。**

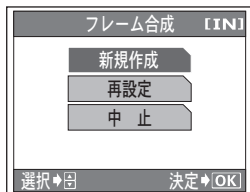
2 **◁▷で合成する画像を選択し、Ⓞを押します。**

- △▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。

3 **画像の位置と大きさを調整し、Ⓞを押します。**

△▽◁▷	画像の位置を調整します。
ズームレバー	画像の大きさを調整します。

4 **［新規作成］を選択し、Ⓞを押します。**

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

タイトル合成

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［画像合成］▶［タイトル合成］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 **◁▷で画像を選択し、㊊を押します。**

2 **◁▷でタイトルを選択し、㊊を押します。**

- △▽を押してタイトルを時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。

3 **タイトルの位置と大きさを調整し、㊊を押します。**

△▽◁▷	タイトルの位置を調整します。
ズームレバー	タイトルの大きさを調整します。

4 **△▽◁▷でタイトルの色を設定し、㊊を押します。**

5 **［新規作成］を選択し、㊊を押します。**

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

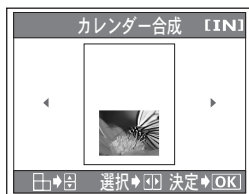
カレンダー合成

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [画像合成] ▶ [カレンダー合成]

☞「メニューの操作方法」(P.18)

1 **◁▷で画像を選択し、㊀を押します。**

2 **◁▷でカレンダーを選択し、㊀を押します。**

- △▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。

3 **カレンダーの日付を設定し、㊀を押します。**

△▽　「年」「月」を変更します。

◁▷　項目を移動します。

4 **[新規作成] を選択し、㊀を押します。**

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、再生モードに戻ります。

レイアウト合成

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［画像合成］▶［レイアウト合成］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ◁▷でレイアウトを選択し、㊙を押します。

2 レイアウト合成する画像を［全画像］［アルバム］［カレンダー］［指定コマ］から選択し、㊙を押します。

レイアウト合成 [IN]
全画像
アルバム
カレンダー
指定コマ
戻る➡MENU 選択➡ 決定➡OK

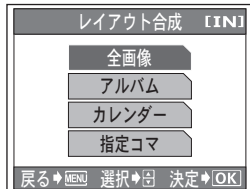
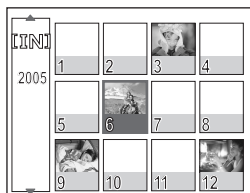
全画像　内蔵メモリまたはカード内のすべての画像をレイアウト合成します。
☞ 手順4へ

アルバム　選択したアルバム内の画像をすべてレイアウト合成します。

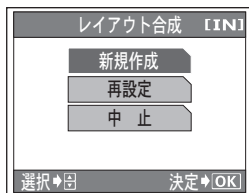
カレンダー　カレンダー再生モードで1ヶ月表示、12ヶ月表示、複数年表示からレイアウト合成する画像を日、月、年単位で選択します。

指定コマ　レイアウト合成する画像を1コマずつ指定します。

3

- **［アルバム］の場合**
  - ◁▷でアルバムを選択し、㊙を押します。

- **［カレンダー］の場合**
  - ズームレバーで1ヶ月表示、12ヶ月表示、複数年表示を切り換えて年、月、日を選択し、㊙を押します。

- **［指定コマ］の場合**
  - ◁▷で画像を選択し、Ⓞを押します。手順４の画面が表示されるまで、繰り返し選択することができます。
  - △▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。

4 ［新規作成］を選択し、Ⓞを押します。

- 作成中を示すバーが表示され､画像が保存された後、再生モードに戻ります。

ご注意

- 次の場合は［フレーム合成］［タイトル合成］［カレンダー合成］［レイアウト合成］はできません。
  内蔵メモリまたはカードの空き容量が不足している／ムービー／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像

ヒント

- フレームやタイトルは､OLYMPUS Masterを使って追加することができます。追加したフレームやタイトルは、内蔵メモリに保存されますので、内蔵メモリを使用して撮影できる枚数は少なくなります。

ムービーの編集

ムービー編集　撮影したムービーから必要な部分を切り出して編集します。
☞「ムービー編集」(P.73)

インデックス作成　作成したムービーの内容が一目でわかるようにムービーを9分割して画面に表示し、1つの画像として保存（インデックス作成）します。
☞「インデックス作成」(P.74)

編集するムービーを選択してからトップメニューを表示してください。

ムービー編集

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［ムービー編集］
☞「メニューの操作方法」(P.18)

1 残したい部分の先頭のコマを選択し、OKを押します。

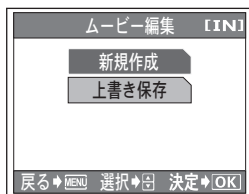
- △：ムービーの先頭のコマへジャンプします。
- ▽：ムービーの末尾のコマへジャンプします。
- ▷：コマが進みます。押している間、再生します。
- ◁：コマが戻ります。押している間、逆再生します。

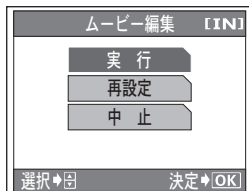
2 手順1と同様に残したい部分の最後のコマを選択し、OKを押します。

3 ［新規作成］または［上書き保存］を選択し、㊉を押します。

新規作成　編集したムービーを新しいムービーとして保存します。

上書き保存　編集したムービーを元のムービーの名前で保存します。元のムービーは失われます。

ムービー編集 [IN]
新規作成
上書き保存
戻る➡MENU　選択➡⇕　決定➡OK

4 ［実行］を選択し、㊉を押します。

- 作成中を示すバーが表示され、編集されたムービーが新規作成または上書き保存された後、再生モードに戻ります。
- コマ指定をやり直す場合は［再設定］を選択して㊉を押します。手順1からやり直します。
- ムービー編集をやめるときは［中止］を選択して㊉を押してください。

ご注意

- 内蔵メモリまたはカードの空き容量が不足している場合は、［新規作成］は選択できません。
- 記録時間の長い動画の編集には時間がかかることがあります。

インデックス作成

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［インデックス作成］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 インデックスの先頭のコマを選択し、㊗を押します。

△ ：ムービーの先頭のコマへジャンプします。

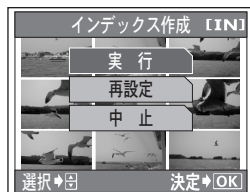
▽ ：ムービーの末尾のコマへジャンプします。

▷ ：コマが進みます。押し続けるとムービーを再生します。

◁ ：コマが戻ります。押し続けるとムービーを逆再生します。

2 手順1と同様にインデックスの後尾のコマを選択し、㊗を押します。

3 ［実行］を選択し、㊗を押します。

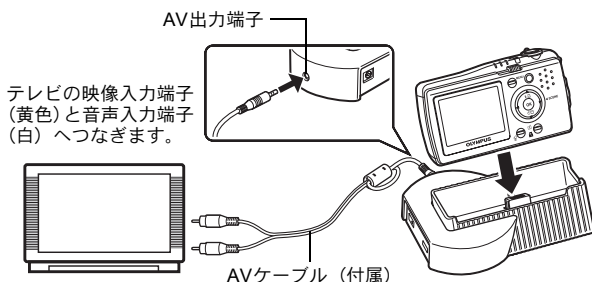
- 作成中を示すバーが表示され、再生モードに戻ります。作成された画像は新規の画像として保存されます。
- コマ指定をやり直す場合は［再設定］を選択して㊗を押します。手順1からやり直します。
- インデックス作成をやめるときは［中止］を選択して㊗を押してください。

ご注意

- ムービーの記録時間により、自動的に抜き出される画像の間隔は異なります。
- インデックス作成されるコマ数は、9コマです。
- 内蔵メモリまたはカードの空き容量が不足しているときは作成することはできません。

テレビで再生する

カメラをクレードルに取り付けて付属のAVケーブルをテレビに接続して画像を再生します。静止画とムービーの両方の再生ができます。

1 **カメラとテレビの電源を切り、付属のAVケーブルでクレードルのAV端子とテレビのビデオ入力端子を接続します。**

2 **カメラをクレードルに取り付けます。**

3 **テレビの電源を入れて［ビデオ入力］に設定します。**

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

4 **パワースイッチを押して、カメラの電源を入れます。**

- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、十字ボタンで表示する画像を選択します。

ヒント

- ［クローズアップ再生］、［インデックス再生］、［スライドショー］等の再生機能が可能です。
- カメラの液晶モニタまたはテレビで再生するとき、別売のリモコン（RM-100）を使用することができます。表示する画像の選択や消去、プロテクトなど、カメラのボタン操作と同様のことができます。カメラがクレードルに取り付けられてACアダプタを使用しているときは、カメラの電源のオン／オフもリモコンで操作できます。

ご注意

- カメラのビデオ信号が、お使いのテレビの映像信号に合っていることを確認してください。☞「ビデオ出力」（P.77）
- AVケーブルを接続すると、カメラの液晶モニタの表示は消えます。
- テレビとの接続には必ず付属のAVケーブルをご使用ください。
- テレビにより画像が画面中央からずれることがあります。

ビデオ出力

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALを選択します。海外でテレビに接続して再生するときに、設定を合わせてください。［ビデオ出力］はビデオケーブルを接続する前に選択してください。間違った映像（ビデオ）信号を選択すると、テレビで画像が正しく再生できません。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［ビデオ出力］▶［NTSC］／［PAL］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

ヒント

主な国と地域のテレビ映像信号

カメラをテレビに接続する前に、あらかじめご確認ください。

NTSC　日本、北米、台湾、韓国

PAL　ヨーロッパ諸国、中国

画像を保護する（プロテクト）

残しておきたい大切な画像は、プロテクト（保護）を設定してください。プロテクトされた画像は1コマ消去／全コマ消去で消去できませんが、フォーマットを行うとすべて消去されます。

プロテクトを設定する画像を選択してトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［プロテクト］▶［オン］／［オフ］

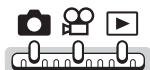
☞「メニューの操作方法」（P.18）

- プロテクトを解除するには、プロテクトが設定された画像を選択し、［オフ］を選択します。

5 いろいろな再生機能

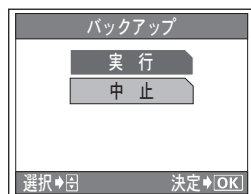
内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）

内蔵メモリに記録したすべての画像データをカードにコピー（バックアップ）します。バックアップをしても内蔵メモリ内の画像は消去されません。

バックアップ機能を使用するには、別売のカードが必要です。カードをカメラに入れてから操作してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［バックアップ］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ［実行］を選択し、Ⓞを押します。

- 内蔵メモリのすべての画像データがカードにコピーされます。

ご注意

- 使用するカードに画像が記録されている場合は、バックアップは行われません。新しいカードを用意するか、カードをフォーマットしてご使用ください。
- バックアップ中に電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。
- バックアップ中は絶対に電池／カードカバーを開けたり、電池を取り外したりしないでください。また、ACアダプタの抜き差しやクレードルからカメラを取り外したりしないでください。内蔵メモリまたはカードが正常に動作しなくなるおそれがあります。

画像を消去する（消去）

撮影した画像を消去します。再生している1コマのみを消去する1コマ消去と内蔵メモリまたはカード内のすべての画像を消去する全コマ消去があります。

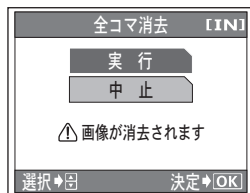
ご注意

- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。
- 消去した画像は元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないように十分に注意してください。☞「画像を保護する（プロテクト）」（P.77）

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［消去］▶［1コマ消去］／［全コマ消去］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ［実行］を選択し、OKを押します。

- ［1コマ消去］を選択すると、表示していた画像が消去されます。［全コマ消去］を選択すると、すべての画像が消去されます。

［全コマ消去］の場合

ヒント

- ボタンを使って画像を消去することもできます。☞「ダイレクトボタンの使い方」（P.12）
- カレンダー表示をしているときは［全コマ消去］のかわりに［日付内全コマ］が表示されます。カレンダー上で選択している日付、月、年にあるすべての画像が消去されます。

ご注意

- アルバムに登録されている画像は、［全コマ消去］では消去されません。［1コマ消去］を行うと消去されます。

メモリ／カードを初期化する（メモリフォーマット／カードフォーマット）

内蔵メモリまたはカードをフォーマットします。フォーマットとは、内蔵メモリまたはカードをこのカメラで書き込みできるように初期化することです。

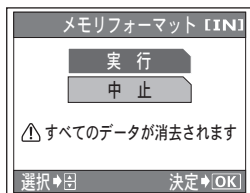
- 内蔵メモリをフォーマットする場合は、カードを入れないでください。
- カードをフォーマットする場合は、あらかじめカードを入れてください。
- 当社製以外のカードやパソコンでフォーマットしたカードを使用する場合は、必ずこのカメラでフォーマットしてください。

フォーマットするとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードをフォーマットするときは大切なデータが記録されていないことを確認してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶
［メモリフォーマット（カードフォーマット）］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

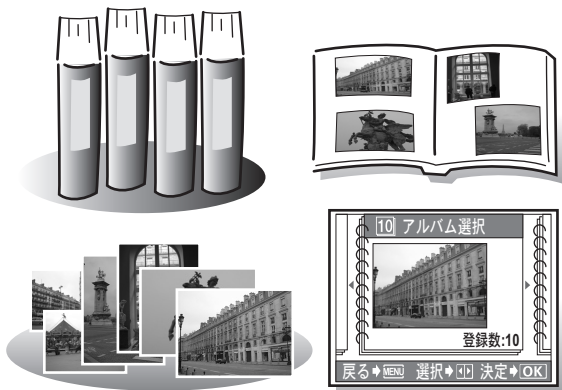
1 ［実行］を選択し、㊍を押します。

- 画面に処理中のバーが表示され、フォーマットされます。

ご注意

- フォーマット中は絶対に次のことをしないでください。カードが使用できなくなるおそれがあります。
  電池/カードカバーを開ける／ACアダプタの抜き差しをする（カメラに電池が入っている、いないにかかわらず絶対にしないでください。）／クレードルからカメラを取り外す

アルバムを楽しむ

6

デジタルカメラで撮った画像は、プリントしなくてもカメラで再生して見ることができるのがとても便利ですね。自分で確認するだけでなく、友人に旅行中に撮った画像を見てもらって旅行の感動を共有したり、ボーイフレンドが写っている画像を家族に見せて紹介したり。
でも、たくさんの画像の中から肝心の画像がすぐに再生できず、焦ったことはありませんか？
たとえばテーマごとに画像を分類してアルバムに登録しておくと、そんな時スムーズに目的の画像が表示できます。また、自分のお気に入りだけ登録したアルバムのスライドショーを楽しむこともできます。

撮影した画像をアルバムに入れる（アルバム登録）

撮影した静止画やムービー、VOICE録音した音声をアルバムに分類して、整理することができます。アルバムは12個あり、各アルバムに最大100の静止画やムービー、音声が登録できます。

アルバムに登録したい画像を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［アルバム登録］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

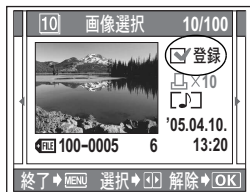
1 ◁▷ を押して、登録したいアルバムを選択し、㊙を押します。

- アルバムに登録されている1コマ目の画像が表示されます。
- 画像が登録されていないアルバムは、画像が表示されません。

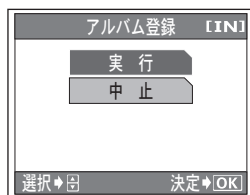
2 ［この画像を登録］または［選択登録］を選択し、㊙を押します。

この画像を登録	現在表示されている画像を登録します。 ☞手順5へ
選択登録	登録する画像を複数選択します。

3 ◁▷ を押してアルバムに登録する画像を選択し、㊙を押します。

- 登録に☑が付きます。再度㊙を押すと□になりアルバムに登録されません。
- ズームレバーをW側に回して、インデックスから画像を選択することもできます。

4 登録する画像をすべて選択したら、MENUボタンを押します。

5 ［実行］を選択し、㊇を押します。

- 画像がアルバムに登録されると、再生モードに戻ります。

ご注意

- アルバムに登録できる画像の枚数は、内蔵メモリまたはカード容量によって変わります。

アルバムの画像を見る（アルバム再生）

アルバムに登録した画像を再生します。

トップメニュー ▶［アルバム選択］ ☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ▽◫を押します。

☞「ダイレクトボタンの使い方」（P.12）

- アルバム再生モードになります。

2 ◁▷ を押して、見たいアルバムを選択し、㊀を押します。

- 選択したアルバムの最初のコマが表示されます。

3 ◁▷を押してコマを選択します。

- ズームレバーをT側に回して拡大表示することができます。拡大表示中、十字ボタンでスクロールすることができます。
- インデックス表示はできません。
- ㊀ を押すとムービーや音声が再生されます。

アルバムの画像を再生中に表示されます。

●静止画再生中の操作

- 録音付静止画を再生中、△▽を押して音量を増減します。

●ムービー再生中の操作

- ☞「ムービーの再生」（P.59）

●音声再生中の操作

- ☞「VOICE録音した音声を再生する」（P.91）

4 アルバム再生を終了する場合は、MENUボタンを押してトップメニューを表示し、［アルバム再生終了］を選択します。

ヒント

- 他のアルバムの画像を表示する場合は、**MENU**ボタンを押してトップメニューを表示し、［アルバム選択］を選択します。

アルバム内の画像を並び替える（並び替え）

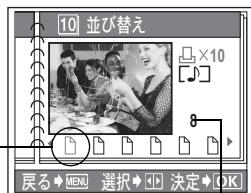
アルバム内の画像には、アルバムに登録した順にコマ番号がつけられます。アルバム内の画像を並び替えて、コマ番号を変更します。アルバムを選択するとコマ番号1の画面が表示されます。

アルバム再生モードで画像を並び替えるアルバムを選択してからトップメニューを表示します。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [並び替え]

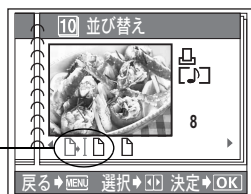
☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ◁▷ を押して並び替える画像を選択し、ⓞⓚを押します。

赤で示された画像が表示されています。

コマ番号

2 ◁▷を押して移動先を選択し、ⓞⓚを押します。

- アルバム内の画像が並び替わります。

移動する位置を示しています。

アルバムから画像を外す

アルバムに登録した画像をアルバムから外します。

アルバム登録を解除する（解除／全コマ解除）

アルバムに登録した画像をアルバム登録から解除します。
アルバム登録から解除しても画像は消去されません。通常の再生モードで表示されます。

●解除する画像を選択する

アルバム再生モードで、アルバム登録を解除する画像を選択してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [解除]

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ［この画像を解除］または［選択解除］を選択し、Ⓞを押します。

この画像を解除	表示されている画像を解除します。 手順4へ
選択解除	解除する画像を複数選択します。

2 ◁▷ を押して解除する画像を選択し、Ⓞを押します。

- 画像を選択すると、チェックマークがつきます。再度Ⓞを押すとチェックマークが消えます。

3 すべて選択したら、MENU ボタンを押します。

4 ［実行］を選択し、Ⓞを押します。

●すべての画像を解除する

アルバム再生モードで、画像のアルバム登録を解除するアルバムを表示してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［全コマ解除］▶［実行］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

ヒント

- ［全コマ解除］を行うと、プロテクトされている画像もアルバム登録から解除されます。ただし、内蔵メモリまたはカードからは削除されません。

アルバムから画像を消去する（1コマ消去）

アルバム内の画像を選択して消去します。消去すると、内蔵メモリまたはカードからも消去されます。

ご注意

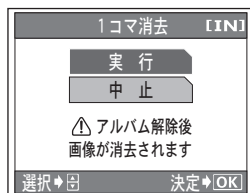
- ［1 コマ消去］を行うと、画像は消去されて元に戻せません。アルバム登録を解除するだけの場合は［解除］または［全コマ解除］を行ってください。

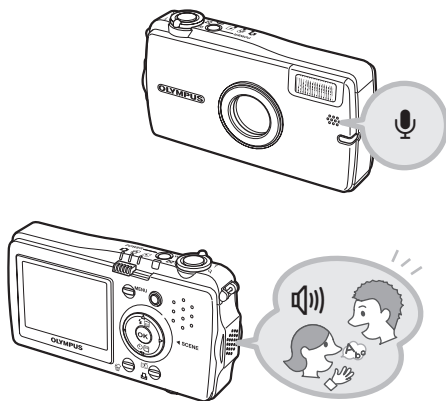
アルバム再生モードで、消去する画像を表示してからトップメニューを表示してください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［消去］▶［1コマ消去］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ［実行］を選択し、OKを押します。

- ボタンを使って画像を消去することもできます。☞「ダイレクトボタンの使い方」（P.12）

7 VOICE録音を利用する

このカメラで録音できることを知っていましたか？
静止画やムービー撮影時にも録音することができますが、その場合、音声は静止画やムービーと一緒に保存されます。VOICE 録音機能を使うと、音声だけを記録します。
音声ファイルは静止画やムービーと同様に、インデックス表示やカレンダー表示されますから、管理や再生も簡単です。
大事なことを録音してメモ代わりにする、なかなか会えない友人にメッセージを録音してもらって時々聞いて楽しむ……。
あなたならどんな使い方をしますか？

音声を録音する（VOICE録音）

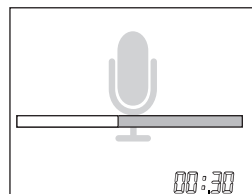
このカメラでは、静止画やムービーを撮影するだけでなく、音声のみを録音できます。録音した音声は、WAVファイルとして保存され、撮影した静止画やムービーと同様に1コマ表示やインデックス表示されます。

トップメニュー ▶［VOICE録音］ ☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 カメラの録音マイクを録音したい対象に向けます。

2 シャッターボタンを全押しします。

- セルフタイマー／カードアクセスランプが点滅し、録音が開始されます。
- 録音中表示されるバーは以下を示しています。

バー全体	：内蔵メモリまたはカードの全容量
白色	：使用済の容量
黄色	：現在録音中の容量
灰色	：残量

3 もう一度シャッターボタンを押します。

- 録音が終了します。

4 撮影に戻る場合は、MENUボタンを押してVOICE録音のトップメニューを表示し、［VOICE録音終了］を選択します。

ご注意

- 録音対象がカメラから1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。
- ［VOICE録音終了］を選択して［VOICE録音］を終了するまでは、撮影できません。
- 録音中にボタン操作などを行うと、その音が録音されてしまうことがあります。
- 内蔵メモリまたはカードの空き容量が不足している場合は、録音できないことがあります。

録音する音質を選ぶ

音質を 3 種類から選択できます。

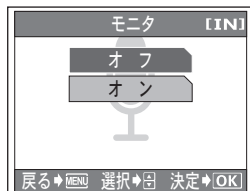
1　VOICE 録音のトップメニューから［VOICE 音質］を選択します。

2　［高音質］［標準音質］［長時間］から選択し、㊋を押します。

液晶モニタをオン／オフする

録音待機中に一定時間経過した後、液晶モニタをオンにしたままにするか、オフにするかを選択します。

1　VOICE録音のトップメニューから［モニタ］を選択します。

2　［オン］または［オフ］を選択し、㊋を押します。

VOICE録音した音声を再生する

録音した音声を再生します。

1 十字ボタンで再生したい音声ファイルを選択し、OKを押します。

- VOICE 録音された音声ファイルは右の画面のように表示されます。
- 音声が再生されます。
- 再生が終了すると元の再生モードに戻ります。

●再生中のVOICE録音を終了するには

MENUボタンを押してトップメニューを表示し、▽を押して［VOICE再生終了］を選択します。

●音声再生中の操作

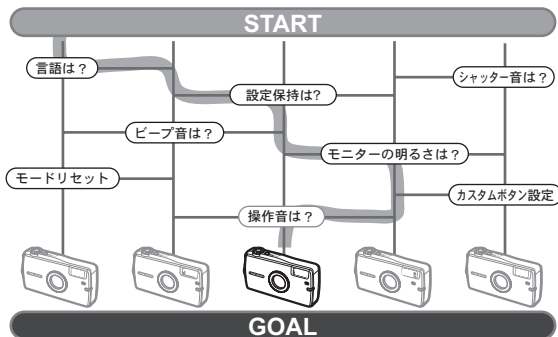
△	：音量を大きくします。
▽	：音量を小さくします。
▷	：押している間、2倍速で早送りします。音声は再生されません。
◁	：押している間、2倍速で巻き戻しします。音声は再生されません。
OK	：一時停止します。再度押すと、再生が再開します。
MENU	：一時停止して、VOICE録音再生のトップメニューが表示されます。

●一時停止中の操作

△	：先頭に移動します。
▽	：末尾に移動します。
▷	：秒送りをします。
◁	：秒戻しをします。
OK	：再生を再開します。
MENU	：VOICE録音再生のトップメニューが表示されます。

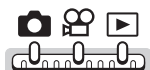
8

設定

撮ってすぐ見る、これがデジタルカメラの大きな特徴であり、便利なところです。
でも、デジタルカメラの便利さはそれだけではありません。
たとえば、電源をオンにしたときの起動画面やビープ音、シャッター、操作音などを選んだり、よく使う機能はカスタムボタンに登録してすばやく設定できるようにできます。
これらの機能を活用するかどうかで、ぐーんと使い勝手が違ってくるはず。ぜひ試してみてください。

外見は同じでも“あなただけのカメラ”が完成！

カメラの設定を記憶する（設定保持）

電源を切った後も、変更した設定値を保持するかどうか選択します。設定保持が適用される機能については下記の表を参照してください。
［設定保持］の設定は、すべてのモードで共通です。いずれかのモードで［設定保持］を［する］に設定すると、撮影モード、再生モードにかかわらず、適用されます。

しない　電源を切ると変更した設定値は初期設定に戻ります。
する　電源を切っても変更した設定値は保持されます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［設定保持］▶［する］／［しない］
「メニューの操作方法」（P.18）

ご注意

- カメラ設定の機能（設定保持、、ビープ音など）は、設定保持が［しない］に設定されていても初期設定に戻りません。

●［設定保持：しない］で設定が元に戻る機能とその設定

機能名	初期設定	参照頁	機能名	初期設定	参照頁
露出補正	0.0	P.45	ムービー録音	オン	P.42
フラッシュ	オート	P.38	画質モード	静止画：スーパーハイ5M 動画：スタンダード	P.24
測光	オート	P.47	ホワイトバランス	オート	P.46
マクロ／スーパーマクロ	オフ	P.37	情報表示	通常	P.61
連写	オフ	P.43	セルフタイマー	オフ	P.49
SCENE	**P-AUTO**	P.32	手振れ補正	オフ	P.41
デジタルズーム	オフ	P.36	スライドショー	標準	P.62
フルタイムAF	オフ	P.42	VOICE音質	標準音質	P.90
AF方式	オート	P.48	モニタ（VOICE録音）	オン	P.90
スチル録音	オフ	P.54			

8 設定

表示する言語を切り換える

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [カメラ設定] ▶ [ ]

☞「メニューの操作方法」(P.18)

1 表示したい言語を選択し、OK を押します。

ヒント

表示する言語を増やしたい

→ OLYMPUS Masterを使って、表示する言語を増やすことができます。詳しくはOLYMPUS Masterのヘルプをご覧ください。

8 設定

起動画面を変える(起動画面)

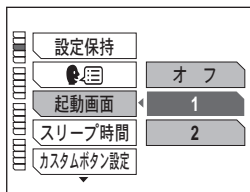
電源を入れたときに表示される画面を設定します。

トップメニュー ▶ [モードメニュー] ▶ [カメラ設定] ▶ [起動画面]

☞「メニューの操作方法」(P.18)

1 [オフ] [1] [2] から選択し、OK を押します。

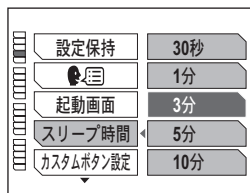
オフ 画面表示なし(初期設定)

1/2 画面表示あり

スリープ時間を設定する（スリープ時間）

カメラは、何も操作しない状態で設定した時間が経過すると、スリープモード（待機状態）になり、動作を停止します。スリープに入るまでの時間を設定することができます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［スリープ時間］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1　［30秒］［1分］［3分］［5分］［10分］から選択し、Ⓞを押します。

カスタムボタン設定

カスタムボタンに使用頻度の高い機能を登録します。カスタムボタンに登録すると、メニューから画面を表示するのではなく、カスタムボタンを押して直接、設定画面を表示することができます。

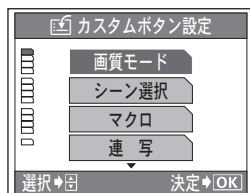
カスタムボタンに設定できる機能	設定内容	参照頁
画質モード	静止画： SHスーパーハイ 5M、H1ハイ 3M、H2ハイ 2M、PCPCモニタ 1M、Eメール VGA ムービー： Sスタンダード、Lロングプレイ	P.24
シーン選択	P-AUTO、、、、、、、、、、、、、、、、、	P.32
マクロ	オフ、マクロ、スーパーマクロ	P.37
連写	オフ、オン	P.43
露出補正	-2.0～+2.0	P.45
デジタルズーム	オフ、オン	P.36
ホワイトバランス	オート、晴天、曇天、電球、蛍光灯	P.46
測光	オート、スポット	P.47
AF方式	オート、スポット	P.48
フルタイムAF	オフ、オン	P.42
スチル録音	オフ、オン	P.54
ムービー録音	オフ、オン	P.42
手振れ補正	オフ、オン	P.41

カスタムボタンに機能を登録する

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［カスタムボタン設定］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 設定する機能を選択し、OK を押します。

ご注意

- 、、で異なった登録をすることはできません。

カスタムボタンを使う

1 ボタンを押します。

☞「ダイレクトボタンの使い方」（P.12）

- 登録した機能がメニュー表示されます。

2 操作ガイドにしたがって設定します。

カスタムボタンに［連写］を登録した場合

カメラの音に関する設定を行う

ビープ音　カメラの警告音を［オフ］［オン］から選択します。さらに、［オン］の場合は音量を［小］［大］から選択できます。

シャッタ音　シャッターボタンを押したときの音色を［オフ］［1］［2］から選択します。さらにそれぞれの音量を［小］［大］から選択できます。

操作音　メニュー選択などボタン操作をしたときの操作音の音色を［オフ］［1］［2］から選択します。さらにそれぞれの音量を［小］［大］から選択できます。

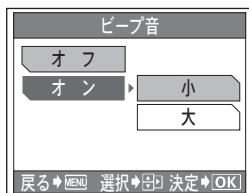
再生音量　スチル録音やムービー録音した画像を再生するときの音量を設定します。5段階の音量が設定できます。

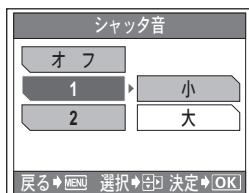
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

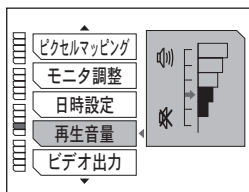
1 ［ビープ音］［シャッタ音］［操作音］［再生音量］から設定します。

●［ビープ音］の場合

［オフ］または［オン］を選択します。
［オン］の場合は、さらに［小］または［大］を選択してⓄを押します。

●［シャッタ音］［操作音］の場合

［オフ］［1］［2］から選択します。
［1］［2］の場合は、さらに［小］または［大］を選択してⓄを押します。

●［再生音量］の場合

△▽を押して音量を設定し、Ⓞを押します。

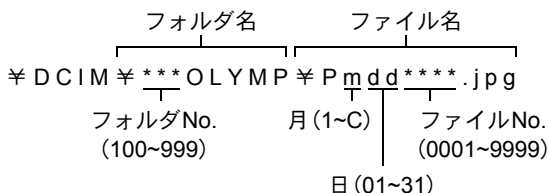
8 設定

撮影後すぐに画像を確認する（レックビュー）

撮影した直後に画像を液晶モニタに表示するかどうか設定します。

オン　撮影した画像を記録中に表示します。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。レックビュー中でもすぐに次の撮影に入れます。
オフ　記録中の画像は表示されません。次の撮影のために被写体を追いながら撮影する場合に便利です。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［レックビュー］▶［オフ］／［オン］
☞「メニューの操作方法」（P.18）

ファイル名をリセットする（ファイル名メモリー）

記録される画像には、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に生成されます。ファイル名とフォルダ名はそれぞれファイルNo.（0001~9999）、フォルダNo.（100~999）を含み、以下のように付けられます。

ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

フォルダNo.とファイルNo.の付け方は、［リセット］［オート］の2種類あります。パソコンで画像を取り込む際に、扱いやすい方をお選びください。

ファイル名メモリーの設定

リセット　カードを入れ換えたときにフォルダNo.、ファイルNo.が両方ともリセットされます。フォルダNo.は「No.100」に、ファイルNo.は「No.0001」に戻ります。カード別に画像を管理するときに便利です。

オート　カードを入れ換えても、フォルダNo.、ファイルNo.とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。すべての画像を通し番号で管理するのに便利です。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［ファイル名メモリー］▶［リセット］／［オート］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

ご注意

- ファイルNo.が9999を超えるとファイルNo.は0001に戻り、フォルダNo.が変わります。
- 最大のフォルダNo.999、ファイルNo.9999に達すると、カードに残量があっても撮影可能枚数が0になり撮影できません。新しいカードに取り換えてください。

液晶モニタの明るさを調整する（モニタ調整）

液晶モニタの明るさを見やすいように調整します。

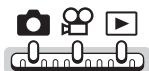
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［モニタ調整］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 液晶モニタを見ながら明るさを調整し、設定が決まったらⓞⓚを押します。

- △を押すと明るくなり、▽を押すと暗くなります。

日付・時刻を設定する（日時設定）

日付・時刻を設定します。日時の情報は画像とともに記録され、日時の情報をもとにファイル名が付けられます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［日時設定］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 日付の順序を、［年-月-日］、［月-日-年］、［日-月-年］から選択し、▷を押します。

- 年の設定に移動します。
- 以下の画面は［年-月-日］に設定した場合です。

日時設定
2005 . 01 . 01
年 月 日
00 : 00
選択 設定 決定 OK

2 ［年］を△▽を押して設定し、▷で次の項にすすみます。

- ◁を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- ［年］の上 2 桁は固定されています。

3 同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。

- カメラの時間表示は 24 時間表示です。午後2時は14:00と表示されます。

4 Ⓞを押します。

- 0秒の時報に合わせてⓄを押すと、正確に時間を合わせられます。

ご注意

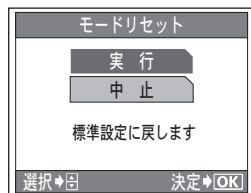
- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には、日時の設定が正しいことを確認してください。
- 日時設定が解除されると、カメラの電源を入れたときに液晶モニタに警告画面が表示されます。☞「エラーメッセージ」（P.145）

カメラの設定をリセットする（モードリセット）

撮影や再生で設定した内容をリセットして、お買い上げ時の設定に戻します。［モードリセット］を行うと、［設定保持］を［する］に設定した内容もリセットされます。

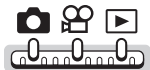
トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［モードリセット］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ［実行］を選択し、OKを押します。

ヒント

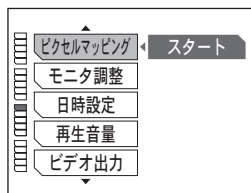
- ［日時設定］はリセットされません。

画像処理機能を調整する（ピクセルマッピング）

CCDと画像処理機能のチェックと調整を同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けて実行します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［ピクセルマッピング］

☞「メニューの操作方法」（P.18）

1 ［スタート］が表示されたら、OKを押します。

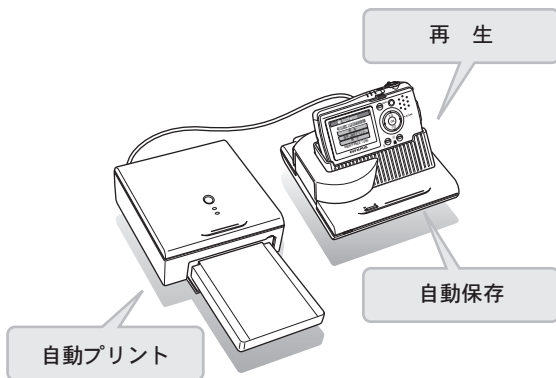
- ピクセルマッピング実行中のバーが表示されます。終了するとモードメニューに戻ります。

ご注意

- 処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

9

Dock&Doneの機能を使う

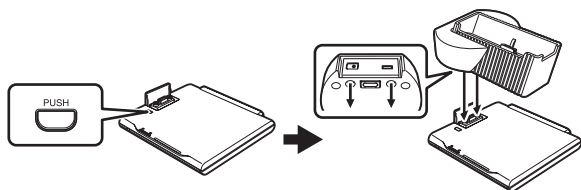
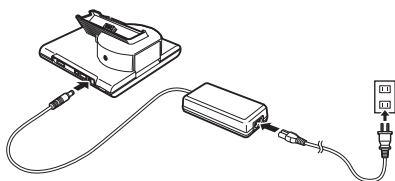
このカメラは、Dock&Done の機能を持つことにより、パソコンを使わずに画像の保存やプリントが手軽に行えるようになりました。カメラの画像を CD にコピーしてプレゼントする。画像の補正や編集、加工を行ってそのままプリントする。それらの操作がカメラを使ってメニュー操作だけで行うことができます。*
ぜひ、Dock&Done 対応の製品を使って「撮る」「見る」「残す」「探す」「観る」「飾る」「渡す」という写真本来の楽しみ方を体験してください。

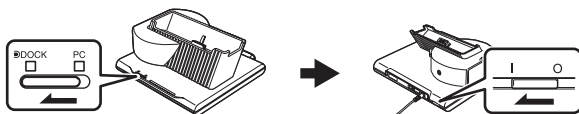
* Dock&Done 対応のストレージ（ハードディスク、DVD)、プリンタをご用意ください。

カメラとDock&Done対応ストレージ（ハードディスク、DVD）を使う

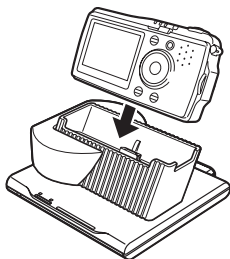
新規に撮影した画像をストレージ（ハードディスク、DVD）に保存します。ストレージに保存した画像はカメラの液晶モニタで再生することができます。
新規に撮影された画像は、［ストレージ保存］の設定が［保存する］になっています。一度ストレージに保存されると、この設定が解除され、重複して保存されることはありません。この設定は画像ごとに変更することができます。

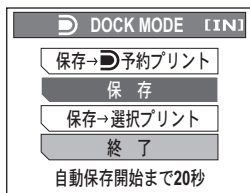
☞Dock&Done対応ストレージの詳しい操作は、別売のDock&Done対応ハードディスクストレージ、またはDock&Done対応DVDストレージ付属の取扱説明書をご覧ください。

カメラの画像を保存する（ストレージ保存）

1 **カメラに付属のクレードルをストレージにセットします。**

2 **ストレージにACアダプタ、電源コードを接続します。**

3 **ストレージの Dock&Done モード／ PC モード切換スイッチを［DOCK］に切り換えて、電源をオンにします。**

- DVDストレージを使用する場合は、あらかじめストレージにディスクをセットしておきます。

4 カメラをクレードルに取り付けます。

- カメラの電源が入り、[DOCK MODE] 画面が表示されます。
- カメラの電源はストレージのACアダプタによって供給されます。
- DVD ストレージの場合、フォーマットされていないディスクがセットされていると、ディスクフォーマットの画面が表示されます。詳しくは、DVDストレージに付属の取扱説明書をご覧ください。

5 ［保存］を選択し、OKを押します。

- カメラの設定により表示される画面、選択可能な項目が異なります。
  ☞「カメラの設定をする」（P.113）、「● ［DOCK MODE］画面のメニューについて」（P.112）
- 保存が終了すると自動的にカメラの電源がオフになります。

? ヒント

- 画像をストレージに保存するかどうかを1コマずつ設定することもできます。☞「ストレージ保存」（P.113）
- 画像をストレージに保存した後、カメラの画像を自動的に消去する設定もできます。☞「保存後」（P.113）
- カメラの電源がオフの間は、ストレージのACアダプタによってカメラの電池が充電されます。

! ご注意

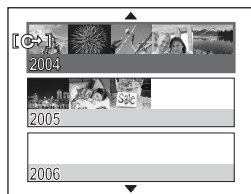
- カメラにカードが入っているときは、カードの画像のみを保存します。内蔵メモリの画像を保存するときは、カードを取り出しておいてください。
- DVD ストレージを使って画像を保存したディスクをパソコンで表示するためには、パケットライトに対応したアプリケーションソフトが必要です。パケットライトソフトについては、別売のDock&Done対応DVDストレージ付属の取扱説明書をご覧ください。

ストレージの画像を再生する（ストレージ再生）

ストレージに保存した画像をカメラの液晶モニタで見ることができます。
カメラ、クレードルとストレージをセットした状態で操作します。

［DOCK MODE］画面が表示されている場合は、［終了］を選択し、OKを押します。

トップメニュー ▶［ストレージ再生］ ☞「メニューの操作方法」（P.18）

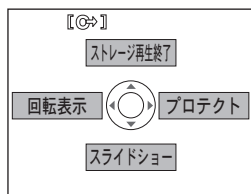
1 画像が複数年表示されます。

- ズームレバーを回して、複数年表示、12ヶ月表示、1ヶ月表示、インデックス表示、1コマ表示に切り換えることができます。

2 ズームレバーをT側に回して1コマ表示します。

- ◁▷を押して前後の画像を表示します。
- ムービーまたはVOICE録音の音声の場合は、OKを押して再生します。

ストレージ再生中は が表示されます。

3 ストレージ再生を終了する場合は、MENUボタンを押してストレージ再生モードのトップメニューを表示し、［ストレージ再生終了］を選択します。

- ストレージ再生が終了し、カメラ内の画像を再生します。

ヒント

- ストレージ再生モードでは、以下の操作ができます。

回転表示	☞「画像を回転させる（回転表示）」（P.58）
スライドショー	☞「スライドショー」（P.62）
プロテクト	☞「画像を保護する（プロテクト）」（P.77）
日付内全コマ消去	複数年表示、12ヶ月表示、1ヶ月表示しているとき、**MENU**ボタンを押してトップメニューを表示し、［日付内全コマ消去］を選択します
ボタン	☞「ダイレクトボタンの使い方」（P.12）
ボタン	☞「カメラとDock&Done対応プリンタを使う」（P.110）

ご注意

- ストレージ再生でムービーや音声を再生するとき、通常の再生と同じ操作ができない場合があります。
- ハードディスクストレージ（S-HD-100）がストレージ再生対応になっている必要があります。対応でない機種をお持ちの方は、ファームウェアのバージョンアップが必要です。詳しくはカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

画像を保存したディスクを作成する（ディスク作成）

カメラに保存されているすべての画像をDock&Done対応DVDストレージを使って、簡単な手順でCDやDVDに保存することができます。

- あらかじめクレードルと DVD ストレージをセットしておきます。カメラはメニュー選択後に取り付けます。
- 未使用（フォーマットされていない）のDVDまたはCDを用意してDVDストレージにセットしておきます。

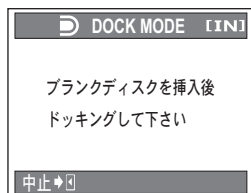
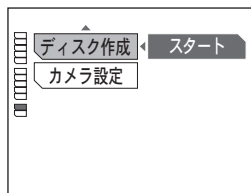
☞ Dock&Done 対応 DVD ストレージの詳しい操作については、別売のDock&Done対応DVDストレージ付属の取扱説明書をご覧ください。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［ディスク作成］

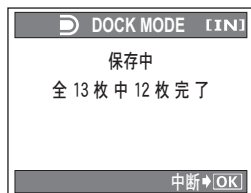
☞「メニューの使い方」（P.15）

1 [スタート]を選択し、Ⓞを押します。

ディスク作成 スタート
カメラ設定

- カメラの液晶モニタにメッセージが表示されます。

2 カメラをクレードルに取り付けます。

- ディスクフォーマット中のメッセージが表示されます。

- 画像をディスクに保存中のメッセージが表示されます。

- 画像の保存が終了すると、DVDストレージからディスクが排出されます。
- カメラの画面はモードメニューに戻ります。

ヒント

- 複数のディスクを作成する場合は、クレードルからカメラを取り外し、未使用のCDまたはDVDをDVDストレージにセットしてから手順1、2を繰り返してください。

ご注意

- ［ディスク作成］が終了したディスクは、追記することはできません。

カメラとDock&Done対応プリンタを使う

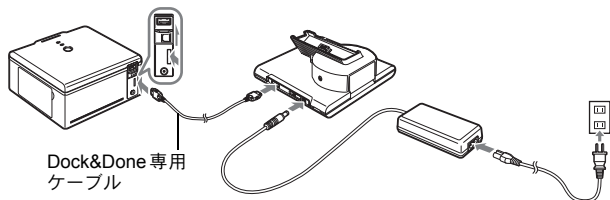
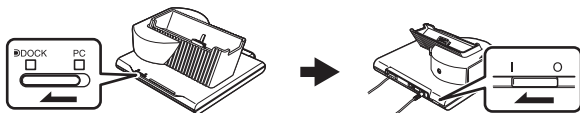
カメラとDock&Done対応ストレージ（ハードディスク、DVD）、Dock&Done対応プリンタを使って、カメラの画像やストレージに保存した画像をプリントします。
カメラをストレージにDock&Done接続したときに表示される［DOCK MODE］画面からプリントする場合と、カメラの ボタンを押すと表示されるプリントトップメニューからプリントする場合があります。

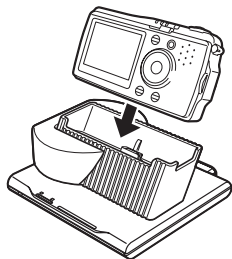
☞ Dock&Done対応ストレージやプリンタの操作については、別売のDock&Done対応ストレージ（ハードディスク、DVD）付属の取扱説明書、および別売のDock&Done対応プリンタ付属の取扱説明書をご覧ください。

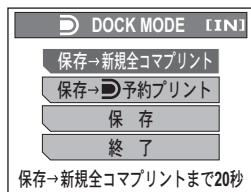
Dock&Done対応ストレージとプリンタを組み合わせて使う

［DOCK MODE］画面で、まだストレージに保存されていない画像をストレージに保存した後、プリントすることができます。あらかじめカメラの設定の［新規全コマプリント］を［オン］にしておきます。☞「新規全コマプリント」（P.114）

1 **ACアダプタ、電源コードを接続したストレージとプリンタをDock&Done専用ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。**

2 クレードルをストレージにセットします。

3 ストレージのDock&Doneモード／PCモード切換スイッチを［DOCK］に切り換えて、電源をオンにします。

4 カメラをクレードルに取り付けます。

- カメラの電源はストレージのACアダプタによって供給されます。
- 自動的にカメラの電源が入り［DOCK MODE］画面が表示されます。

5 ［保存→新規全コマプリント］を選択し、OKを押します。

- カメラの設定により表示される画面、選択可能な項目が異なります。
☞「カメラの設定をする」（P.113）
- カメラ内の新規画像がストレージに保存された後、プリントされます。
- プリントが終了すると自動的にカメラの電源がオフになります。

●［DOCK MODE］画面のメニューについて

カメラの設定やプリント予約の有無などにより、表示されるメニューが異なります。

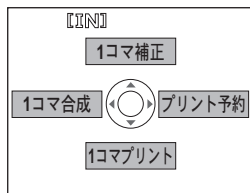
［DOCK MODE］画面では以下のメニュー項目があります。使用できないメニュー項目は選択できません。

保存→予約プリント	ストレージにまだ保存されていない画像を保存した後、プリント予約した画像をプリントします。
保存	ストレージにまだ保存されていない画像を保存します。
保存→選択プリント	ストレージにまだ保存されていない画像を保存した後、画像を選択してプリントします。
保存→新規全コマプリント	ストレージにまだ保存されていない画像を保存した後、その画像をすべてプリントします。
予約プリント	プリント予約した画像をプリントします。
選択プリント	画像を選択してプリントします。
新規全コマプリント	ストレージにまだ保存されていない画像をすべてプリントします。

Dock&Done対応プリンタだけを使う

カメラとプリンタを接続して再生モードでボタンを押すと、プリントトップメニューが表示されます。

カメラとDock&Done対応プリンタを直接接続するときは、付属のUSBケーブルを使います。

プリンタの種類、プリンタとの接続状態によってプリントトップメニューの機能が異なります。

●プリントトップメニューについて

1コマ補正	カメラの画像を選択して、画像編集および画像調整を行ってからプリントします。 設定方法は「画像調整（赤目補正／明るさ調整／鮮やかさ調整）」（P.66）「画像編集（モノクロ／セピア／リサイズ／トリミング）」（P.65）を参照してください。
1コマ合成	カメラの画像を選択して、画像合成を行ってからプリントまたは新規画像として保存します。 設定方法は「画像合成」（P.68）を参照してください。
プリント予約	カメラのカードや内蔵メモリに保存された画像をプリント予約します。「プリント予約（DPOF）」（P.123）
1コマプリント	カメラまたはストレージ内の画像を選択してプリントします。 プリンタのみ接続している場合は、カメラ内の画像を選択してプリントします。「ダイレクトプリント（PictBridge）」（P.116）

●接続するプリンタについて

- **Dock＆Done対応プリンタとストレージを専用ケーブルで接続**
  すべての機能が使用できます。ストレージ保存されている画像をプリントすることもできます。画像をストレージに保存後、［DOCK MODE］画面で［終了］を選択します。ストレージ再生して凸ボタンを押し、［1コマプリント］を選択してプリントします。☞「カメラの画像を保存する（ストレージ保存）」（P.105）、「ストレージの画像を再生する（ストレージ再生）」（P.107）
- **PictBridge対応プリンタと接続**
  ［1コマ補正］［1コマ合成］は設定できますが、プリントすることができません。設定した画像はカメラに保存することができます。［1コマプリント］は設定、プリントできます。［プリント予約］は設定できます。

カメラの設定をする

ストレージ保存やプリントに関してカメラの設定を行います。

ストレージ保存

カメラに記録されている画像をストレージに自動的に保存するかを、1枚ずつ設定します。すでに自動保存された画像を［保存する］に設定して別のディスクに保存したり、新しく撮影した画像を［保存しない］に設定して必要な画像だけ保存することができます。

設定する画像を選択してからトップメニューを表示します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［ストレージ保存］▶［保存する］／［保存しない］
☞「メニューの操作方法」（P.18）

保存後

カメラの画像をストレージに保存した後、カメラ内の画像を消去するか、そのまま保持するか設定します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［保存後］▶［画像消去］／［画像保持］
☞「メニューの操作方法」（P.18）

ヒント

- ［保存後］を［画像消去］に設定しても、以下の画像は消去されません。
  アルバム登録されている画像／プリント予約されている画像*／プロテクトされている画像
  * プリント予約している画像でも、［プリント後］を［予約解除］に設定すると、プリント後にプリント予約は解除されて画像も消去されます。

新規全コマプリント

カメラ内のストレージに保存されていない画像を自動的にプリントするかどうか設定します。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶
［新規全コマプリント］▶［オフ］／［オン］☞「メニューの操作方法」（P.18）

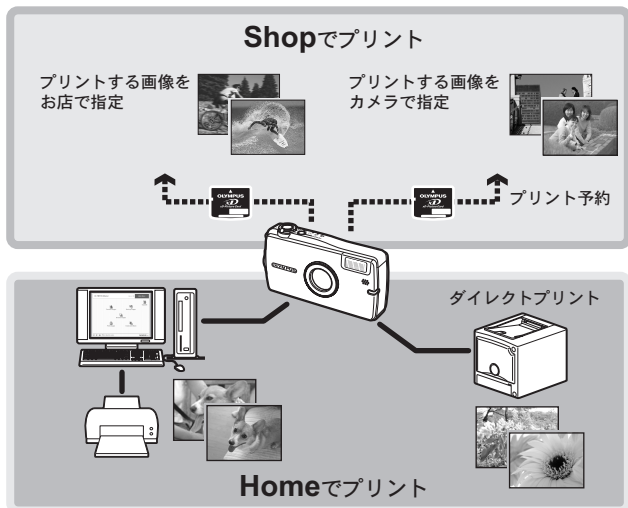
プリント後

［DOCK MODE］画面で［予約プリント］を選択してプリントした後、プリント予約を解除するか、そのままプリント予約を保持するか設定します。誤って同じ画像を繰り返しプリントしてしまうことを防ぐことができます。［予約解除］に設定すると、プリント後カメラ内の画像のプリント予約がすべて解除されます。

トップメニュー ▶［モードメニュー］▶［カメラ設定］▶［プリント後］▶
［予約解除］／［予約保持］ ☞「メニューの操作方法」（P.18）

プリントする

10

撮影した画像をプリントしましょう。
お店でプリントする方法と、自分でプリンタを使ってプリントする方法があります。
お店でプリントする時は、カードにプリント予約をしておくと便利です。プリント予約は、あらかじめプリントする画像や枚数をカードに設定しておく方法です。
自分でプリントする時は、デジタルカメラを専用プリンタに直接接続して印刷する方法（ダイレクトプリント）と、パソコンに取り込んでパソコンに接続されたプリンタで印刷する方法があります。

ダイレクトプリント（PictBridge）

ダイレクトプリントについて

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数の設定は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラの液晶モニタを見ながら操作します。また、プリント予約の設定内容を使って、プリントすることもできます。☞「プリント予約（DPOF）」（P.123）
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridgeとは…異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

標準設定とは…PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（P.117～121）で［標準設定］を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

ヒント

- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

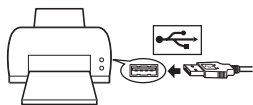
- 電源にはACアダプタのご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は、残量が充分にあることを確認してください。プリンタと通信中にカメラが動作を停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データを壊すことがあります。
- ムービーはプリントできません。
- USB ケーブルでプリンタと接続しているときは、カメラはスリープモード（待機状態）になりません。

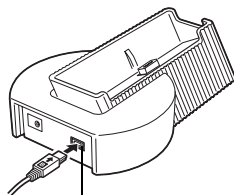
プリントモードや各設定の内容について

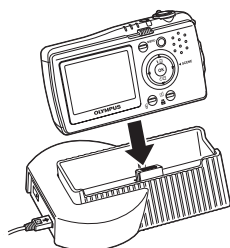
使用できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

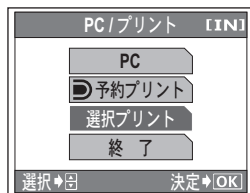
プリントする

付属のUSBケーブルで、カメラをPictBridge対応プリンタに接続します。
最も基本的なプリント方法で1枚プリントしてみましょう。選択した画像が1枚、お使いのプリンタの標準設定でプリントされます。日付やファイル名はプリントされません。

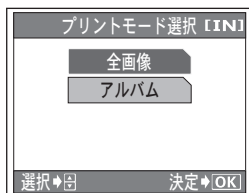
1 プリンタの電源を入れてプリンタのUSBポートに、カメラに付属のUSBケーブルのプリンタ接続側のプラグを差し込みます。

- プリンタの電源の入れ方およびUSB端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

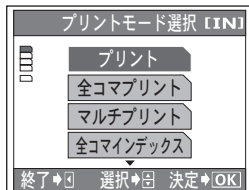
2 付属のUSBケーブルをクレードルのUSB端子に差し込みます。

3 カメラをクレードルに取り付けます。

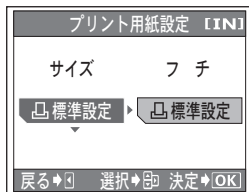
- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

4 ［選択プリント］を選択し、㊇を押します。

- ［予約プリント］はDock&Done対応プリンタでのみ使える機能です。
☞「カメラとDock&Done対応プリンタを使う」（P.110）

• 「しばらくお待ちください」と表示されたあと、カメラとプリンタが接続され、カメラの液晶モニタに［プリントモード選択］画面が表示されます。プリントの設定はカメラの液晶モニタを見ながら操作します。

5 ［全画像］を選択し、㊙を押します。

• アルバムから選択してプリントする場合は、［アルバム］を選択します。

6 ［プリント］を選択し、㊙を押します。

• ［プリント用紙設定］画面が表示されます。

7 サイズ、フチの設定は何も変更せずに、㊙を押します。

• ［プリント用紙設定］画面が表示されないときは、手順8に進みます。

8 ◁▷ を押してプリントする画像を選択し、㊙を押します。

• ［プリント］画面が表示されます。

9 ［プリント］を選択し、㊙を押します。

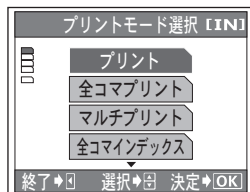
• プリントが開始されます。
• プリントが終了すると［プリントモード選択］画面が表示されます。

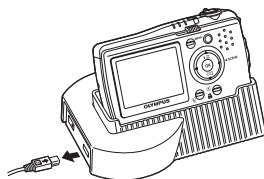
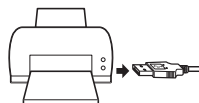
●プリントを途中で中止するには

プリンタへデータを転送中に㉿を押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、[中止] を選択し、㉿を押します。

データ転送中の画面

10 プリントモード選択画面で、◁を押します。

• メッセージが表示されます。

11 クレードルからUSBケーブルを抜きます。

• カメラの電源が切れます。

12 プリンタからUSBケーブルを抜きます。

その他のプリントモードとプリント設定

基本的なプリント方法以外に、さまざまなプリントモードがあります。また同一のプリントモードでも用紙サイズやフチの有無を設定することもできます。
以下の画面が表示されたら操作ガイドにしたがって操作してください。

プリント対象を選ぶ

全画像　内蔵メモリまたはカード内の全画像からプリントする画像を選択します。

アルバム　アルバムを選択してその中からプリントする画像を選びます。

操作ガイド

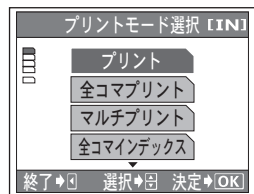
プリントモードを選ぶ

プリント　選択した画像をプリントします。

全コマプリント　内蔵メモリまたはカードの中の全画像をプリントします。

マルチプリント　1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。

全コマインデックス　内蔵メモリまたはカードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。

予約プリント　プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約された画像が無いときは、選択できません。
☞「プリント予約（DPOF）」（P.123）

10 プリントする

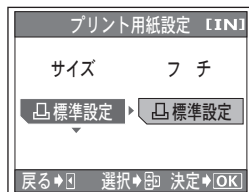
プリント用紙を設定する

プリントする用紙サイズとフチの設定は、［プリント用紙設定］画面で設定します。

用紙サイズ　お使いのプリンタで使用できる用紙サイズから選択できます。

フチ　フチの有無を選択できます。マルチプリントモードの場合、フチの選択はありません。

- **有り（▢）**　用紙の周辺に余白をつけてプリントします。
- **無し（□）**　用紙いっぱいにプリントします。

分割数　マルチプリントモードの場合のみ選択できます。分割数はお使いのプリンタの種類によって異なります。

ご注意

- ［プリント用紙設定］画面が表示されない場合、［用紙サイズ］と［フチ］、または［分割数］の設定は標準設定になります。

プリントする画像を選ぶ

◁▷を押してプリントする画像を選択します。ズームボタンを押してインデックス表示して選択することもできます。

プリント　表示している画像が1枚プリントされます。

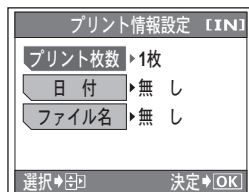
1枚予約　表示している画像をプリント予約します。予約マークが表示されます。

詳細予約　表示している画像のプリント枚数やプリントする情報を設定します。

プリント枚数とプリントする情報を設定する

プリント枚数　プリント枚数を設定します。枚数は10枚まで設定できます。

日付（🕘）　［有り］を選択すると、画像に日付がプリントされます。

ファイル名（FILE）　［有り］を選択すると、画像にファイル名がプリントされます。

エラーメッセージが表示されたときは

ダイレクトプリント設定中およびプリント中にカメラの液晶モニタにエラーメッセージが表示されたときは、以下のように対応してください。
対処方法については、お使いのプリンタの取扱説明書もご覧ください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
接続されていません	カメラがプリンタに正しく接続されていません。	カメラとプリンタを正しく接続し直してください。
Dock&Done プリンタが接続されていません	Dock&Done 対応プリンタと接続していない状態で［予約プリント］を選択した場合です。	［PC／プリント］画面で［予約プリント］を行う場合は、Dock&Done 対応プリンタと接続してください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした場合です。	プリントの設定中には、プリンタの操作はしないでください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れ直してください。

ヒント

- その他のエラーメッセージが表示されたときは、「エラーメッセージ」（P.145）をご確認ください。

プリント予約（DPOF）

プリント予約とは

プリント予約とは、内蔵メモリまたはカード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。
プリント予約をすると、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。プリントショップや家庭でのプリントアウトで自動プリントが可能なように、プリントしたい画像や枚数などの指定を記録します。

プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

DPOF対応のプリントショップでプリントする

予約されている内容に従ってプリントできます。

DPOF対応のプリンタでプリントする

パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。PCカードアダプタが必要な場合もあります。

DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ

内蔵メモリの画像をプリントショップでプリントすることはできません。カードにコピーしてプリントショップへお持ちください。

☞「内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）」（P.78）

プリントショップなどのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。
ファイル番号は、画像を再生したときに、約3秒間表示されます。
（例）　FILE 100–0006
フォルダの通し番号　画像の通し番号

ファイル番号

10
プリントする

ヒント

撮影時の画質モードとプリントの関係

パソコンやプリンタの解像度には一般的に1インチあたりの点（ピクセル）の数が用いられ、dpi（dot per inch）で示されます。同じ画像をプリントしても、プリント時のdpiの値を大きくすることでより鮮明に印刷することができますが、撮影された画像のピクセル数は変わらないため、実際に印刷されるサイズは小さくなります。その画像を拡大してプリントすることもできますが、画質は粗くなります。

プリントすることを前提として撮影するときや、大きいサイズでプリントしたいときは、撮影時の画質モードをできるだけ高いものに設定することをおすすめします。☞「画質について」（P.24）

ご注意

- 他の DPOF 機器で設定された DPOF 予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器で DPOF 予約されているファイルがある場合、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、以前に予約した内容は消去されます。
- 内蔵メモリまたはカードに空き容量が少ないと予約できない場合があります。「カード残量がありません」と表示されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999枚までです。
- 「この画像は再生できません」と表示される画像でも、プリント予約を設定できることがあります。その場合、1 コマ再生だとプリント予約マーク（凸）は表示されません。複数の画像を表示（インデックス表示）しているときは、凸マークが表示され、プリント予約を確認できます。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。
- プリント予約は、予約を記録するときに時間がかかることがあります。

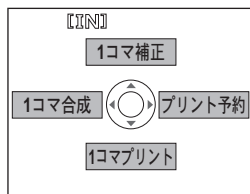
1コマ予約する

プリント予約する画像を選択して［1コマ予約］してみましょう。操作ガイドにしたがって設定します。

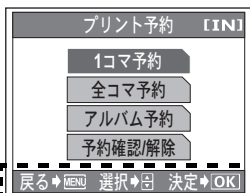
1 凸ボタンを押します。

- プリントのトップメニューが表示されます。

2 ［プリント予約］を選択します。

- すでにプリント予約した画像がある場合は、その予約設定を残すか解除するかを選択する画面が表示されます。
- ［1コマ補正］［1コマ合成］については、「Dock&Done対応プリンタだけを使う」（P.112）を参照してください。
- ［1コマプリント］については、「ダイレクトプリント（PictBridge）」（P.116）を参照してください。

3 ［1コマ予約］を選択し、Ⓞを押します。

- ［アルバム予約］はプリント予約するアルバムを選択し、［1コマ予約］または［全コマ予約］を選択します。

操作ガイド

4 操作ガイドにしたがって◁▷を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽を押してプリント枚数を設定します。

- のついた画像はプリント予約できません。
- 複数の画像をプリント予約する場合は、手順4を繰り返します。

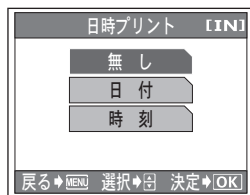
操作ガイド

5 プリント予約が終わったらⓄを押します。

6 ［無し］［日付］［時刻］から選択し、Ⓞを押します。

無し 画像のみプリントされます。

日付 プリント予約した画像に撮影年月日がプリントされます。

時刻 プリント予約した画像に撮影時刻がプリントされます。

1コマ予約メニュー画面

10 プリントする

7 **［予約する］を選択し、㊀を押します。**

全コマ予約する

内蔵メモリまたはカードの中の全画像をプリント予約します。プリント枚数は1枚固定です。撮影日時のプリントを設定することができます。

1 **［プリント予約］画面で［全コマ予約］を選択し、㊀を押します。**

2 **［無し］［日付］［時刻］から選択し、㊀を押します。**

無し　画像のみプリントされます。

日付　プリント予約したすべての画像に撮影年月日がプリントされます。

時刻　プリント予約したすべての画像に撮影時刻がプリントされます。

3 **［予約する］を選択し、㊀を押します。**

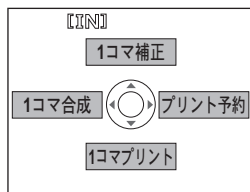
プリント予約を解除する

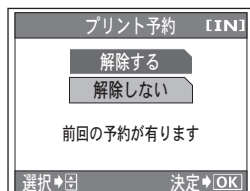
画像のプリント予約を解除します。
すべてのプリント予約を解除する方法と、選んだ画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

●すべての予約を解除する

1 **ボタンを押します。**

- プリントのトップメニューが表示されます。

2 ［プリント予約］を選択します。

3 ［解除する］を選択し、OKを押します。

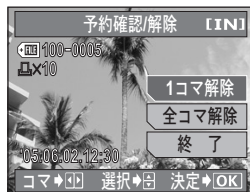
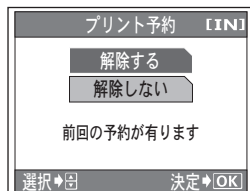
- プリント予約した画像がない場合は、この画面は表示されません。

●1コマずつ予約を解除する

1 ［プリント予約］画面で［解除しない］を選択し、OKを押します。

- プリント予約した画像がない場合は、この画面は表示されません。

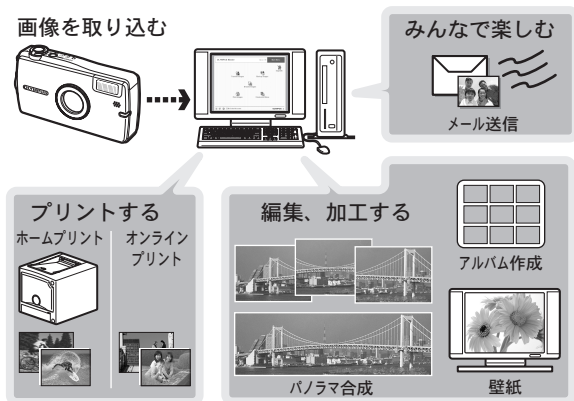
2 ［予約確認／解除］を選択し、OKを押します。

3 ◁▷を押してプリント予約を解除したい画像を表示して［1コマ解除］を選択し、OKを押します。

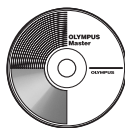
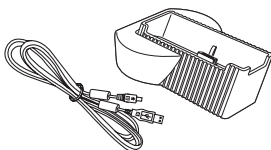
- プリント予約が解除されます。
- ［全コマ解除］を選択するとすべての予約が解除されます。

4 予約解除が終わったら［終了］を選択し、OKを押します。

10 プリントする

パソコン接続

撮影した画像をパソコンで利用してみましょう。
お好みの画像を選んでプリントするだけではありません。アプリケーションソフトを使って取り込んだ画像を日付別、目的別などに整理する、画像を編集・加工する、さらにインターネットを利用し、メールに画像を添付して送るなど、カメラの楽しみがどんどん広がります。
パソコンならではの画像の表示方法もありますね。スライドショーやカメラアルバムを作ったり、デスクトップの壁紙にして楽しんだりできます。

操作の流れ

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラの内蔵メモリまたはカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

以下のものを準備して操作をはじめてください。

手順	参照
OLYMPUS Masterをインストールする	☞P.131
↓	
付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する	☞P.135
↓	
OLYMPUS Masterを起動する	☞P.136
↓	
画像をパソコンに保存する	☞P.138
↓	
カメラをパソコンから取り外す	☞P.139

ヒント

パソコンに取り込んだ画像を活用するには

→ グラフィックソフトを使用して画像を処理する場合は、必ずパソコンに取り込んでから行ってください。ソフトウェアによってはファイル（画像）がカメラの内蔵メモリまたはカードの中にある状態で画像処理（画像の回転など）を行うと、ファイルが壊れる可能性があります。

USB接続でカメラのデータを取り込めないとき

→ xD-ピクチャーカードは、PCカードアダプタ（別売）をお使いいただくと画像を取り込める場合もあります。詳しくは裏表紙に記載の「ホームページによる情報提供について」をご参照ください。

ご注意

- カメラをパソコンに接続して使用するときは、AC アダプタのご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は残量をご確認ください。パソコンとの接続中（通信中）は、自動的に電源が切れません。電池の残量がなくなると、カメラは途中で動作を停止します。カメラが動作を停止すると、パソコンが誤動作したり、パソコンとカメラの通信中の場合は画像データ（ファイル）を壊すことがあります。
- 誤動作の原因になりますので、パソコンとの接続中はカメラの電源を切らないでください。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、ハブとパソコン間の相性によって動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコンとカメラを直接接続してください。

付属のOLYMPUS Masterを使う

画像の編集・管理を行うために付属のCD-ROMからOLYMPUS Masterをインストールしましょう。

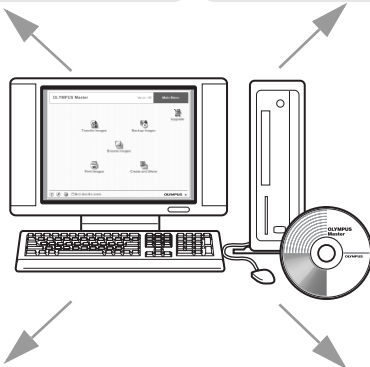
OLYMPUS Masterとは

OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

カメラやメディアから画像を取り込む

画像を整理・管理する
カレンダー形式で表示して画像を管理します。撮影日時やキーワードから、目的の画像をすばやくみつけることができます。

画像を見る・ムービーを見る
スライドショーを楽しんだり、サウンドを再生することもできます。

画像を編集する
画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。

フィルタ機能、補正機能で画像を補正する

パノラマ写真を作る
パノラマモードで撮った画像を使ってパノラマ写真を作成します。

プリンタを使ってプリントする
インデックスプリントやカレンダー、ポストカードなど多彩なプリントが楽しめます。

上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応についてはオリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。

●動作環境について

Windows

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP
CPU	Pentium III 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、65,536色以上

ご注意

- OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。
- Windows 2000 Professional/XPでインストールする場合は、管理者権限を所有するユーザーでログオンしてください。
- QuickTime 6以上、Internet Explorerがインストールされている必要があります。
- Windows XPは、Windows XP Professional/Home Editionに対応しています。
- Windows 2000は、Windows 2000 Professionalにのみ対応しています。
- Windows 98SEをお使いの場合、USBドライバが自動的にインストールされます。

Macintosh

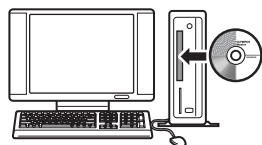
OS	Mac OS X 10.2以降
CPU	Power PC G3 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、32,000色以上

ご注意

- USBポートが標準装備されていないMacintoshでは、パソコンとカメラをUSB接続した場合の動作を保証いたしません。
- QuickTime 6以上、Safari 1.0以上がインストールされている必要があります。
- 次の操作を行う時は、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラのカードカバーを開ける
  - カメラの電池カバーを開ける

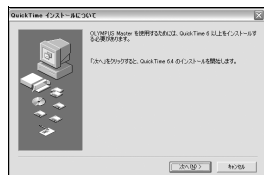
Windowsの場合

1 CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。

- OLYMPUS Masterセットアップ画面が表示されます。
- 表示されない場合は、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、CD-ROM アイコンをクリックしてください。

2 「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。

- QuickTime インストール用の画面が表示されます。
- QuickTimeはOLYMPUS Masterを動作させるために必要です。すでにQuickTime 6以上がインストールされている場合は表示されません。手順4に進んでください。

3 「次へ」ボタンをクリックし、画面のメッセージに沿って操作を行います。

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「同意します」ボタンをクリックします。
- OLYMPUS　Masterインストール用の画面が表示されます。

4 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。

- 途中、ユーザ情報入力画面が表示されたら、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、地域を選択して「次へ」ボタンをクリックします。シリアル番号はCD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。

- 途中、DirectXの使用許諾画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。
- Adobe Readerをインストールするかどうか確認する画面が表示されます。Adobe ReaderはOLYMPUS Masterの取扱説明書を見るために必要です。すでにAdobe Readerがインストールされている場合は表示されません。

5 Adobe Readerをインストールする場合は「OK」ボタンをクリックします。

- インストールしない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。
- Adobe　Readerインストール用の画面が表示されます。画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 続いて、蔵衛門体験版のインストールを行うかどうか確認する画面が表示されます。蔵衛門体験版をインストールする場合は「はい」ボタンをクリックします。

6 画面のメッセージにしたがって操作を行います。

- インストール完了画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

7 再起動を求める画面が表示されたら、「今すぐコンピュータを再起動する」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

Macintoshの場合

1 CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。

- CD-ROMのウィンドウが表示されます。
- 表示されない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

2 「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。

- OLYMPUS Masterのインストーラが起動します。
- 画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「続ける」ボタン、「同意します」ボタンをクリックします。
- インストール完了画面が表示されます。

3 「終了」ボタンをクリックします。

- 最初の画面に戻ります。

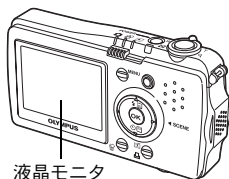
4 「再起動」ボタンをクリックします。

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

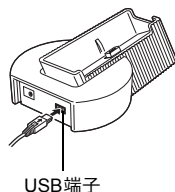
カメラをパソコンに接続する

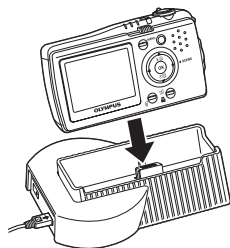
付属のUSBケーブルで、クレードルとパソコンを接続したあとに、カメラをクレードルに取り付けます。

1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

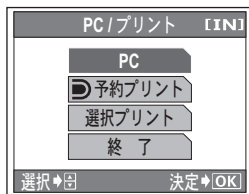
- パワーランプが消えている。
- 液晶モニタが消灯している。
- レンズバリアが閉じている。

2 パソコンのUSBポートに、付属のUSBケーブルを差し込みます。

- USBポートの位置はお使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。

3 付属のUSBケーブルをクレードルのUSB端子に差し込みます。

4 カメラをクレードルに取り付けます。

- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

5 [PC] を選択し、Ⓞを押します。

6 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- Windows 98SE/Me/2000の場合
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行います。設定終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてメッセージを終了してください。カメラは「リムーバブルディスク」として認識されます。

- Windows XPの場合
  パソコンに接続すると、画像ファイルの操作を選択する画面が表示されます。OLYMPUS Masterで画像を取り込みますので、「キャンセル」ボタンをクリックします。
- Mac OS Xの場合
  画像ファイルは通常iPhotoというアプリケーションで管理されます。はじめてカメラを接続するとiPhotoが起動しますので、iPhotoを終了させOLYMPUS Masterを起動してください。

ご注意

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。

OLYMPUS Masterを起動する

Windowsの場合

1 デスクトップの「OLYMPUS Master」アイコン をダブルクリックします。

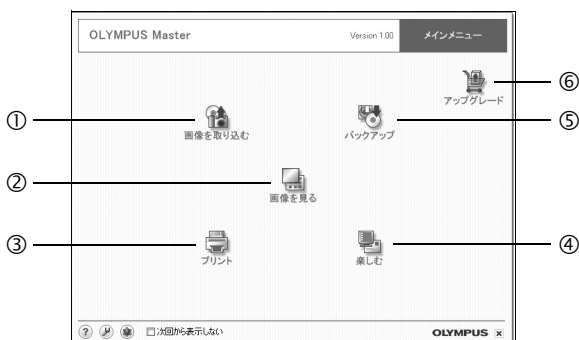
- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザ登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

Macintoshの場合

1 「OLYMPUS Master」フォルダ内の「OLYMPUS Master」アイコン をダブルクリックします。

- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザ情報入力画面が表示されますので、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、地域を選択してください。

- ユーザ情報入力画面に続いて、ユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

●OLYMPUS Masterのメインメニュー

①**「画像を取り込む」ボタン**
画像をカメラまたはメディアから取り込みます。

②**「画像を見る」ボタン**
ブラウズウィンドウが表示されます。

③**「プリント」ボタン**
プリントメニューが表示されます。

④**「楽しむ」ボタン**
楽しむメニューが表示されます。

⑤**「バックアップ」ボタン**
画像をバックアップします。

⑥**「アップグレード」ボタン**
OLYMPUS Master Plusへアップグレードできるウィンドウが表示されます。

●OLYMPUS Masterを終了するには

1 メインメニューで「閉じる」ボタン ✖ をクリックします。

- OLYMPUS Masterが終了します。

カメラの画像をパソコンで表示する

取り込んで保存する

カメラの画像をパソコンに保存します。

1 **OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を取り込む」ボタン をクリックします。**

- 取り込み元選択メニューが表示されます。

2 **「カメラから」ボタン をクリックします。**

- 取り込み元ウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。

3 **画像ファイルを選択し、「取り込み」ボタンをクリックします。**

- 取り込み完了のメッセージが表示されます。

4 **「今すぐ画像を見る」ボタンをクリックします。**

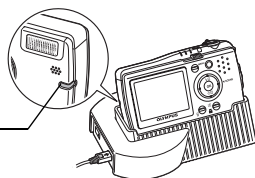
- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

ご注意

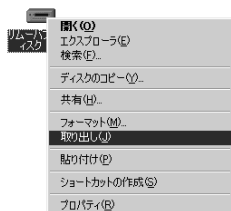
- 画像の取り込み中はセルフタイマー／カードアクセスランプが点滅します。点滅している間は絶対に以下のことをしないでください。
  - 電池／カードカバーを開ける
  - クレードルからカメラを取り外す
  - ACアダプタを抜き差しする

●カメラを取り外すには

カメラの画像をパソコンに取り込んだら、カメラを取り外すことができます。カメラをクレードルから取り外す場合も同じ操作をしてください。

1 セルフタイマー／カードアクセスランプが消えていることを確認します。

2 USBケーブルを抜く準備をします。

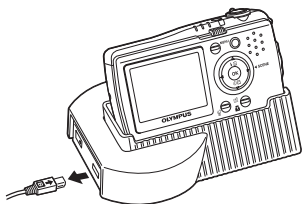
Windows 98SEの場合

1「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして､「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし､メニューを表示させます。
2 メニューの「取り出し」をクリックします。

Windows Me/2000/XPの場合

1 システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコン をクリックします。
2 表示されたメッセージをクリックします。
3「デバイスは安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら､「OK」ボタンをクリックします。

Macintoshの場合

1 デスクトップの「名称未設定」（ または「NO_NAME」）アイコンをドラッグすると「ゴミ箱」アイコンが「取り出し」アイコンに変わりますので、そのまま「取り出し」アイコンの上にドロップしてください。

3 クレードルからUSBケーブルを抜きます。

ご注意

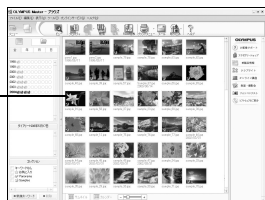
- Windows Me/2000/XPの場合：「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、「ハードウェアの取り外し」の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

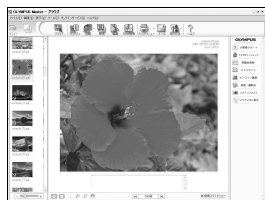
静止画／ムービーを見る

1 OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を見る」ボタン をクリックします。

- ブラウズウィンドウが表示されます。

2 見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。

サムネイル

- ビューモードに切り換わり、画像が拡大されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

11 パソコン接続

●ムービーを見るには

1 **ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。**

- ビューモードに切り換わり、ムービーの1コマ目が表示されます。

2 **ムービー表示部下側の再生ボタン をクリックするとムービーが再生されます。**

コントローラ各部の名称とはたらきは以下のとおりです。

	項目	詳細
1	再生スライダー	スライダーを移動して、任意のフレームを指定できます。
2	時間表示	再生中の経過時間が表示されます。
3	再生(一時停止)ボタン	ムービーを再生します。再生中は一時停止ボタンになります。
4	1フレーム戻るボタン	1つ前のフレームを表示します。
5	1フレーム進むボタン	次のフレームを表示します。
6	停止ボタン	再生を停止し、先頭のフレームに戻ります。
7	繰り返しボタン	ムービーが繰り返し再生されます。
8	ボリュームボタン	ボリューム調整スライダーが表示されます。

プリントする

フォト、インデックス、ポストカード、カレンダーなどのプリントメニューがあります。ここではフォトプリントを例に説明します。

1 **OLYMPUS Masterメインメニューで「プリント」ボタン をクリックします。**

- プリントメニューが表示されます。

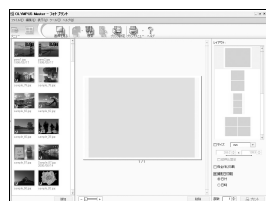
2 「フォト」ボタン をクリックします。

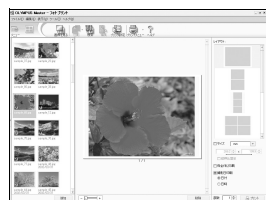
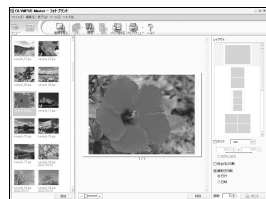
- フォトプリントウィンドウが表示されます。

3 フォトプリントウィンドウの「プリンタ設定」ボタンをクリックします。

- プリンタ設定画面が表示されますので、必要に応じてプリンタの設定を行います。

4 プリントするレイアウトやサイズなどを選択します。

- 日付または日時を入れてプリントしたいときは、「撮影日印刷」にチェックをつけて「日付」または「日時」を選択します。

5 プリントしたい画像のサムネイルを選択し、「追加」ボタンをクリックします。

- 選択した画像がレイアウト上にプレビュー表示されます。

6 プリントする部数を設定します。

7 「プリント」ボタンをクリックします。

- プリントが開始されます。
- フォトプリントウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

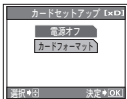
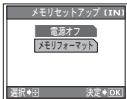
Windows：Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP

Macintosh：Mac OS 9.0-9.2/X

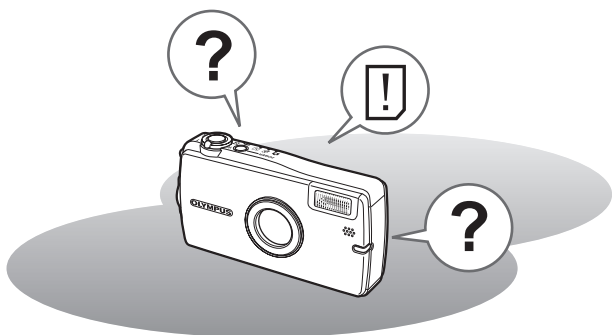
ご注意

- Windows 98SEをお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、付属のOLYMPUS Master CD-ROMの、以下のフォルダのファイルをダブルクリックしてください。
  （お使いのパソコンのドライブ名）：¥USB¥INSTALL.EXE
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - Windows 95/98/NT 4.0
  - Windows 95/98からアップグレードしたWindows 98SE
  - Mac OS 8.6以前（ただし、工場出荷時にUSB端子、USB MASS Storage Support 1.3.5を装備したMac OS 8.6は動作確認がされています。）
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

12

付録

オリンパスからのお知らせです。

- カメラを操作中エラーメッセージが表示されたとき
- パワースイッチを押しても電源が入らず途方にくれたとき
- 大事なカメラの保管方法が知りたいとき
- 取扱説明書で使われている用語の意味を知りたいときなどなど。そんなときぜひご一読ください。

困ったときは

エラーメッセージ

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
このカードは 使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。
書き込み禁止に なっています	カードが書き込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。再度パソコンを使って設定を解除してください。
撮影可能枚数が 0です	内蔵メモリの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを使用してバックアップするか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
撮影可能枚数が 0です	カードの撮影可能枚数、または時間が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
メモリ残量が ありません	内蔵メモリに空き容量がなく、新たな記録をすることができません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
カード残量が ありません	カードに空き容量がなく、内蔵メモリのバックアップなど新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
画像が記録され ていません	内蔵メモリまたはカードに記録画像がないため画像が再生できません。	内蔵メモリまたはカードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。
この画像は 再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
カードカバーが開いています	カードカバーが開いています。	カードカバーを閉めてください。
日時を設定してください	はじめてカメラを使用するときや長時間電池を抜いていたときには、日時が初期設定に戻っています。	日時を設定してください。
カードセットアップ [xD] 電源オフ カードフォーマット 選択 決定 OK	カードがこのカメラで使用できません。またはカードがフォーマットされていません。	• 別のカードに交換するか、カードをフォーマットしてください。 • ［電源オフ］を選択し、OK/MENU を押して新しいカードを入れてください。 • ［カードフォーマット］を選択し、OK/MENU を押してフォーマットを実行します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消去されます。
メモリセットアップ [IN] 電源オフ メモリフォーマット 選択 決定 OK	カメラの内蔵メモリにエラーがあります。	［メモリフォーマット］を選択し OK を押してフォーマットを実行します。フォーマットすると内蔵メモリのデータはすべて消去されます。画像の合成で使用するフレームやタイトルも消去されますので、OLYMPUS Master を使って入れなおしてください。

12
付録

トラブルシューティング

●準備操作

原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない／ボタンを押しても動作しない		
電源が切れている	パワースイッチを押して、電源を入れてください。	—
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	—
寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。	—
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンやズームレバーを操作してください。	—
パソコンに接続している	パソコンと接続中、カメラは動作しません。	—

●撮影

原因	こうしましょう	参照ページ
シャッターボタンを押しても撮影ができない		
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	—
再生モードになっている	モードスイッチを▶以外にしてください。	P.10
フラッシュの充電が完了していない	一度シャッターボタンから指をはなし、オレンジランプと⚡（フラッシュ充電）マークの点滅が終わってから撮影してください。	P.38
電源が入っていない	パワースイッチを押してください。	—
内蔵メモリまたはカードの容量がいっぱいになった	不要な画像を消すか、新しいカードを入れてください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。	P.79, 138
撮影中や内蔵メモリまたはカードの書き込み中に電池がなくなった（液晶モニタが消灯した。）	電池を充電してください。（セルフタイマー／カードアクセスランプが点滅中は、消灯するまでお待ちください。）	—
液晶モニタのメモリゲージがすべて点灯している	メモリゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください。	—
カードに問題がある	「エラーメッセージ」でご確認ください。	P.145

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタが見にくい		
カメラ内が結露*している	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	–
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.100
太陽光の下である	太陽の光を手などでさえぎって撮影してください。	–
撮影時に液晶モニタの画面に縦スジが入る	晴天下のような明るい被写体にカメラを向けると、画面に縦スジが入ることがあります。故障ではありません。	–
画像ファイルに記録される日付が正しくない		
日時が設定されていない	日時を設定してください。お買い上げ時には日時の設定はされていません。	P.101
電池を抜いて放置していた	電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時設定が解除されます。もう一度、日時を設定してください。	P.101
設定した機能が電源を切ると元に戻ってしまう		
［設定保持］が［しない］に設定されている	［設定保持］を［する］に設定してください。	P.93
ピントが合わない		
被写体との距離が近すぎる	被写体との距離をはなして撮影してください。ズームがもっとも広角のときに10cmよりも近づいて撮影するときは、スーパーマクロモードに設定してください。	P.37
AFが苦手な被写体である	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.22
カメラ内が結露*している	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	–
液晶モニタが消灯した		
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンやズームレバーを操作してください。	–

原因	こうしましょう	参照ページ
フラッシュが発光しない		
明るい被写体である	フラッシュを強制的に発光させたい場合は、フラッシュモードを［強制発光］に設定してください。	P.38
連写が設定されている	連写ではフラッシュはご使用になれません。［連写］を［オフ］に設定してください。	P.43
ムービー撮影をしている	ムービーモードではフラッシュはご使用になれません。🎥以外の撮影モードにしてください。	P.40
スーパーマクロ撮影をしている	スーパーマクロ撮影ではフラッシュはご使用になれません。［マクロ］を［オフ］または［🌷マクロ］に設定してください。	P.37
パノラマ撮影をしている	パノラマではフラッシュはご使用になれません。パノラマ撮影を解除してください。	P.50
電池の消耗が早い		
寒い中で使用している	低温下では電池の性能が低下します。カメラを防寒具や衣類の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。	—
電池残量が正しく表示されていない	カメラの消費電力が大きく変化する際、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。電池を充電してください。	—

* 結露： 外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

● 画像の再生

原因	こうしましょう	参照ページ
内蔵メモリの画像が再生できない		
カードが入っている	カードが入っているときは、カード内の画像しか再生できません。カードを抜いてください。	P.28

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像のピントが合っていない		
AFが苦手な被写体を撮影した	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.22
シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった（手ぶれ）	カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。 また、シャッター速度が遅くなると手ぶれが起きやすくなります。夜景撮影や暗い状況でフラッシュを［発光禁止］にして撮影するときは三脚をご使用になるか、カメラをしっかり構えて撮影してください。	–
レンズが汚れていた	レンズの汚れを拭きとってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパー（市販）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。	P.154
撮影した画像が明るすぎる		
フラッシュの設定が「強制発光」になっていた	［強制発光］以外のフラッシュモードに設定してください。	P.38
中央部に暗いものがある	中央部に暗いものがあると周辺部が明るく写ります。露出補正をマイナス（–）側に設定してください。	P.45
撮影した画像が暗い		
フラッシュを指で覆ってしまった	カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気をつけてください。	–
撮りたいものがフラッシュ撮影範囲より遠かった	フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。	P.38
逆光状態で小さい被写体を撮影した	フラッシュモードを［強制発光］に設定するか、［測光］を［スポット］に設定して撮影してください。	P.38, 47
連写撮影した	連写中はシャッター速度の最長時間が短くなるので、暗い場所では通常よりも暗く写るおそれがあります。［連写］を［オフ］に設定してください。	P.43
中央部に明るいものがある	中央部に明るいものがあると全体が暗く写ります。露出補正をプラス（+）側に設定してください。	P.45

原因	こうしましょう	参照ページ
室内で撮影した画像の色がおかしい		
照明の色が影響した	照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P.46
撮影する構図の中に白の基準になるものがなかった	白いものを入れて撮影するか、フラッシュモードを［強制発光］に設定して撮影してください。	P.38
ホワイトバランスの設定を間違えた	照明に合わせて、もう一度ホワイトバランスを設定し直してください。	P.46
画像の一部が暗い		
レンズに指やストラップがかかってしまった	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップがかからないように気をつけてください。	–
液晶モニタ上で再生できない		
電源が入っていない	モードスイッチを▶に合わせてから、パワースイッチを押して、電源を入れてください。	P.10
撮影モードになっている	モードスイッチを▶にしてください。	P.10
内蔵メモリまたはカードに画像が記録されていない	液晶モニタに「画像が記録されていません」と表示されます。撮影してから再生してください。	–
カードに問題がある	「エラーコード」でご確認ください。	P.145
テレビに接続している	AVケーブルを接続しているときは液晶モニタは点灯しません。	P.76
1コマ消去・全コマ消去ができない		
画像がプロテクトされている	画像のプロテクトを解除してください。	P.77
カメラとテレビを接続してもテレビに映像がでない		
カメラの映像出力信号が間違っている	使用する地域の映像信号にビデオ出力の設定を合わせてください。	P.77
テレビの映像信号の設定が間違っている	テレビをビデオ（映像）入力モードにしてください。	–
液晶モニタが見にくい		
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調節してください。	P.100
太陽光の下である	太陽の光を手などでさえぎって撮影してください。	–

●パソコンやプリンタとの接続

原因	こうしましょう	参照ページ
プリンタと接続できない		
USBケーブルでプリンタに接続したあと、液晶モニタで［PC］を選択した	USBケーブルを抜いて最初の手順からやり直してください。	P.117
プリンタがPictBridgeに対応していない	ご使用のプリンタの取扱説明書をご確認ください。または、プリンタメーカーにお尋ねください。	–
パソコンでカメラが認識されない		
パソコンがカメラの認識に失敗した	クレードルからUSBケーブルを抜いて、もう一度接続し直してください。	P.135
USBドライバがインストールできていない	OLYMPUS Masterをインストールしてください。	P.130

●Dock&Done対応機器の使用について

原因	こうしましょう	参照ページ
ストレージにカメラの画像を保存できない		
ストレージの電源が入っていない	ストレージの電源を入れてください。	P.105
ストレージのモードスイッチが［PC］になっている	カメラの画像を直接保存するときは［DOCK］にセットしてください。	P.105
「ストレージ保存」の設定が「保存しない」になっている	「保存する」に設定してください。	P.113
プリンタでプリントできない		
プリンタの電源が入っていない	プリンタの電源を入れてください。	P.110
ストレージ（ハードディスクまたはDVD）とプリンタをUSBケーブルで接続している	ストレージ（ハードディスクまたはDVD）にプリンタを接続するときはDock&Done専用ケーブル（別売）で接続してください。	P.110

アフターサービス

●保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

●当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。

●海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓦマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

●本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

●修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

●カメラのお手入れ

カメラの外側

•柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタ

•柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

•レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

クレードル

•端子部分はブロワー（市販）でほこりを吹き払います。絶対に濡らさないでください。

電池

•乾いた柔らかい布で拭きます。

ご注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

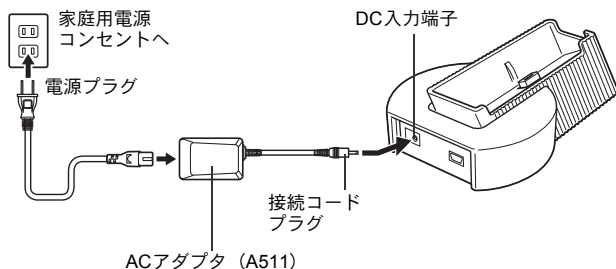
●カメラの保管

•カメラを長期間使用しないときは、電池やACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
•保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

ご注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

ACアダプタ

パソコンに画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行なう場合には、ACアダプタのご使用をおすすめします。
家庭用コンセントを使う場合は付属のACアダプタ（A511）を使用します。専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。

ヒント

- ACアダプタを使用しているとき、カメラのパワースイッチを押すとモードスイッチの位置にかかわらず再生モードで電源が入ります。
- カメラに電池が入っているときにACアダプタを使用すると、カメラ内の電池を充電することができます。
- 通常は約2時間（目安）で充電が完了します。
- 充電中はパワーランプが赤色でゆっくり点滅します。
- Dock&Done対応ストレージ（ハードディスクまたはDVD）にセットしているときは、ストレージを通して充電されます。カメラの電源は切っておいてください。

ご注意

- 電池を使用してカメラをパソコンやプリンタに長時間接続しているとき、途中で電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。なお、接続中には、ACアダプタを抜き差ししないでください。
- カメラの電源が入っているときに電池やACアダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- カメラ内の電池の充電中にエラーが発生すると、パワーランプが赤く点灯します。電池を入れ直すか、プラグをつなぎ直してください。

使用上のご注意

使用条件について

● 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所

● カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

● レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。

● 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。

● カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。

● カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

● 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。

● 本体の電気接点部には手を触れないでください。

● レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

● 当社製リチウムイオン充電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

● 電池の（＋）（－）端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

● 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（＋）（－）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは社団法人電池工業会のホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。

液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

用語解説

画像サイズ
画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 × 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 × 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 × 768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

画素数
画像を形成する最小単位の点。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

けられ
撮影画面内に邪魔なものが入って、被写体が完全に写らないとき、またファインダで覗いたときに撮影レンズの鏡胴で視野の一部が見えないことも、けられといいます。撮影レンズに不適切なフードを使った場合などに視野の四隅が暗くなることもいいます。

コントラスト検出方式
被写体までの距離を測るのに使用している方法。被写体のコントラストの大小を検出することで、ピントがあったかどうかを検出します。

スリープモード（待機状態）
電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタンなどの操作をすると、すぐにカメラは動作します。

デジタルESP測光
CCD出力を分割測光によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。

ノイズリダクション
暗いところの撮影では、CCDにあたる光の量が少なくなるので、遅いシャッター速度で撮影します。長時間露光時はCCDに光があたっていない部分からも信号が発生し、ノイズとして画像に記録されます。ノイズリダクションが働くとカメラが自動的にノイズを軽減してきれいな画像を撮影することができます。

露出
画像が写るために得る光の量。シャッター速度と絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

●アルファベット順

CCD（charge coupled device）
レンズを通して入ってきた光りを受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）
電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）
デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

EV（exposure value）
露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするごとに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

NTSC/PAL（National Television Systems Committee/Phase Alternating Line）
テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

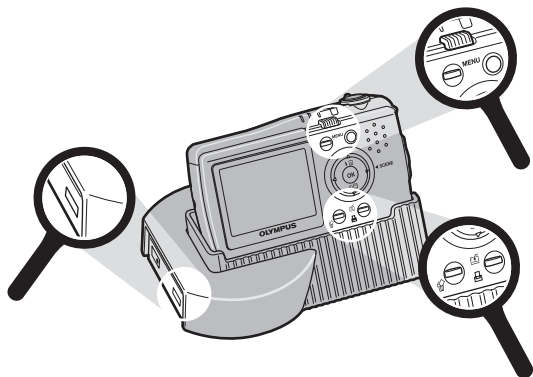
P-AUTOモード（Program auto mode）
プログラムAEモード。カメラが自動的に、適正な絞り値とシャッター速度を設定して撮影するモード。

PictBridge
異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

TFT（thin-film transistor）液晶
薄膜で作られたトランジスタを利用したカラー液晶モニタ。

13

資料

1 章から 11 章で説明したカメラのすべての機能を網羅的に紹介しています。
カメラのボタンや部位の名前、液晶モニタに表示されるアイコンの名前と意味、トップメニュー・モードメニューの一覧など、必要に応じてご覧ください。
索引もありますので、目次からは見つからない機能や項目が記載されているページを探すときにお使いください。また、「各部の名前」や「メニュー一覧」も索引の役目をはたしますので、有効にご活用ください。

メニュー一覧

● 撮影メニュー（📷）

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	画質モード	SHスーパーハイ5M／H1ハイ3M／H2ハイ 2M／PCPCモニタ1M／✉EメールVGA	P.24
	連写	オフ／オン	P.43
	露出補正	–2.0～+2.0	P.45
	デジタルズーム	オフ／オン	P.36
	ホワイトバランス	オート／☀晴天／☁曇天／電球／蛍光灯	P.46
	測光	オート／スポット	P.47
	AF方式	オート／スポット	P.48
	パノラマ		P.50
	合成ツーショット		P.52
	フレーム合成撮影		P.53
	スチル録音	オフ／オン	P.54
	メモリフォーマット（カードフォーマット）	実行／中止	P.80
	カメラ設定		P.167
VOICE録音			P.89
マクロ		オフ／マクロ／スーパーマクロ	P.37
シーン選択		P-AUTO、、、、、、、、、、、、、、、、、	P.32

資料

13

● 撮影メニュー（🎥）

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	画質モード	Ⓢスタンダード／Ⓛロングプレイ	P.24
	露出補正	–2.0～+2.0	P.45
	デジタルズーム	オフ／オン	P.36
	ホワイトバランス	オート／晴天／曇天／電球／蛍光灯	P.46
	フルタイムAF	オフ／オン	P.42
	ムービー録音	オフ／オン	P.42
	メモリフォーマット（カードフォーマット）	実行／中止	P.80
	カメラ設定		P.167
VOICE録音			P.89
マクロ		オフ／マクロ／スーパーマクロ	P.37
手振れ補正		オフ／オン	P.41

● 撮影メニュー（📷🎥）［VOICE録音］選択時

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
VOICE録音終了			P.89
VOICE音質		高音質／標準音質／長時間	P.90
モニタ		オフ／オン	P.90

● 再生メニュー（▶）静止画のとき

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	回転表示	+90°／0°／–90°	P.58
	録音	スタート	P.64
	画像編集	モノクロ／セピア／リサイズ／トリミング	P.65
	画像調整	赤目補正／明るさ調整／鮮やかさ調整	P.66
	画像合成	フレーム合成／タイトル合成／カレンダー合成／レイアウト合成	P.68
	プロテクト	オフ／オン	P.77
	消去	1コマ消去／全コマ消去	P.79
	メモリフォーマット（カードフォーマット）	実行／中止	P.80
	アルバム登録		P.82
	ストレージ保存	保存する／保存しない	P.105
	ディスク作成	スタート	P.108
	カメラ設定		P.167
ストレージ再生			P.107
情報表示		なし／標準／詳細	P.61
スライドショー		標準／スクロール／フェード／ズームダウン／ズームアップ／モザイク／ブラインド／キューブスピン／ランダム	P.62

● 再生メニュー（▶）ムービーのとき

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	インデックスジャンプ		P.60
	ムービー編集	新規作成／上書き保存	P.73
	インデックス作成	実行／再設定／中止	P.74
	プロテクト	オフ／オン	P.77
	消去	1コマ消去／全コマ消去	P.79
	メモリフォーマット（カードフォーマット）	実行／中止	P.80
	アルバム登録		P.82
	ストレージ保存	保存する／保存しない	P.113
	ディスク作成	スタート	P.108
	カメラ設定		P.167
ストレージ再生			P.107
情報表示		なし／標準／詳細	P.61
スライドショー※		標準／スクロール／フェード／ズームダウン／ズームアップ／モザイク／ブラインド／キューブスピン／ランダム	P.62

※ 再生状況によって［ムービー再生終了］が表示される場合もあります。

● 再生メニュー（▶）カレンダー再生のとき

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	回転表示	+90°／0°／–90°	P.58
	インデックスジャンプ		P.60
	プロテクト	オフ／オン	P.77
	消去	1コマ消去／日付内全コマ	P.79
	メモリフォーマット（カードフォーマット）	実行／中止	P.80
	カメラ設定		P.167
カレンダー再生終了			P.57
情報表示		なし／標準／詳細	P.61
スライドショー※		標準／スクロール／フェード／ズームダウン／ズームアップ／モザイク／ブラインド／キューブスピン／ランダム	P.62

● 再生メニュー（▶）アルバム再生のとき

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	スライドショー	標準／スクロール／フェード／ズームダウン／ズームアップ／モザイク／ブラインド／キューブスピン／ランダム	P.62
	インデックスジャンプ		P.60
	並び替え		P.85
	解除		P.86
	全コマ解除	実行／中止	P.86
	消去	1コマ消去	P.87
	カメラ設定		P.167
アルバム選択※			P.82
情報表示		なし／標準／詳細	P.61
アルバム再生終了			P.84

※ 再生状況によって［ムービー再生終了］［VOICE再生終了］が表示される場合があります。

● 再生メニュー（▶）VOICE再生のとき

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	プロテクト	オフ／オン	P.77
	消去	1コマ消去／全コマ消去	P.79
	メモリフォーマット（カードフォーマット）	実行／中止	P.80
	アルバム登録		P.82
	ストレージ保存	保存する／保存しない	P.113
	カメラ設定		P.167
ストレージ再生			P.107
情報表示		なし／標準／詳細	P.61
VOICE再生終了			P.91

● 再生メニュー（▶）ストレージ再生のとき

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
ストレージ再生終了			P.107
回転表示※1		+90°／0°／–90°	P.58
スライドショー※2		標準／スクロール／フェード／ズームダウン／ズームアップ／モザイク／ブラインド／キューブスピン／ランダム	P.62
プロテクト※2		オン／オフ	P.77

※1 カレンダー表示でトップメニューを表示すると［回転表示］は表示されません。［プロテクト］のかわりに［日付内全コマ消去］が表示されます。

※2 再生状況によって［ムービー再生終了］［VOICE再生終了］が表示される場合があります。

● プリントメニュー（▶）凸ボタンを押したとき

トップメニュー	項目	選択肢	参照頁
1コマ補正		赤目補正／明るさ調整／鮮やかさ調整／モノクロ／セピア／トリミング／中止	P.65, 66
1コマ合成		フレーム合成／タイトル合成／カレンダー合成／レイアウト合成／中止	P.68
1コマプリント			P.116
プリント予約		1コマ予約／全コマ予約／アルバム予約／予約確認/解除	P.124

● カメラ設定メニュー（撮影メニュー／再生メニュー共通）

項目	選択肢	参照頁
設定保持	する／しない	P.93
(言語アイコン)	日本語／ENGLISH	P.94
起動画面	オフ／1／2	P.94
スリープ時間	30秒／1分／3分／5分／10分	P.95
カスタムボタン設定	画質モード／シーン選択／マクロ／連写／露出補正／デジタルズーム／ホワイトバランス／測光／AF方式／フルタイムAF／スチル録音／ムービー録音／手振れ補正	P.96
ビープ音	オフ／オン	P.98
シャッタ音	オフ／1／2	P.98
操作音	オフ／1／2	P.98
レックビュー	オフ／オン	P.99
ファイル名メモリー	リセット／オート	P.99
ピクセルマッピング	スタート	P.103
モニタ調整		P.100
日時設定		P.101
再生音量		P.98
ビデオ出力	NTSC／PAL	P.77
バックアップ	実行／中止	P.78
保存後	画像消去／画像保持	P.113
プリント後	予約解除／予約保持	P.114
新規全コマプリント	オフ／オン	P.114
モードリセット	実行／中止	P.102

初期設定一覧

各機能は工場出荷時には下記のように設定されています。

● 撮影モード

ズーム	38mm
モニタ	オン
露出補正	0.0
フラッシュモード	📷 ：オート発光 🎥 ：発光禁止
セルフタイマー	オフ
測光	オート
マクロ	オフ
連写	オフ
SCENEモード	P-AUTO
デジタルズーム	オフ
手振れ補正	オフ
フルタイムAF	オフ
AF方式	オート
パノラマ	オフ
合成ツーショット	オフ
フレーム合成撮影	オフ
スチル録音	オフ
ムービー録音	オン
画質モード	📷 ：スーパーハイ 5M 🎥 ：スタンダード
ホワイトバランス	オート
レックビュー	オン
ファイル名メモリー	リセット
カスタムボタン設定	画質モード
シャッタ音	1ー小
VOICE音質	標準音質
モニタ（VOICE）	オン

● 再生モード

情報表示	標準
回転再生	0°
スライドショー設定	標準
録音	オフ
再生音量	3

● その他

設定保持	する
	日本語
起動画面	1
モニタ調整	標準
日時設定	年月日 2005.01.01 00:00
ビデオ出力	NTSC
ビープ音	オンー小
操作音	1ー小
スリープ時間	3分
保存後	画像保持
プリント後	予約保持
新規全コマプリント	オフ

撮影モード別設定可能な機能

<table>
<tr><th rowspan="2">モード
機能</th><th colspan="2"></th><th rowspan="2"></th></tr>
<tr><th>P-AUTO</th><th>SCENE</th></tr>
<tr><td>ズーム</td><td colspan="2">○</td><td>○※1</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>AF方式</td><td colspan="2">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>フルタイムAF</td><td colspan="2">–</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フラッシュモード</td><td>○</td><td>○※2</td><td>–</td></tr>
<tr><td>マクロ撮影</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>スーパーマクロ撮影</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー撮影</td><td colspan="2">○※3</td><td>○</td></tr>
<tr><td>連写</td><td>○</td><td>○※4</td><td>–</td></tr>
<tr><td>スチル録音</td><td colspan="2">○※5</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ムービー録音</td><td colspan="2">–</td><td>○</td></tr>
<tr><td>手振れ補正</td><td colspan="2">–</td><td>○</td></tr>
<tr><td>パノラマ撮影</td><td colspan="2">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>合成ツーショット</td><td colspan="2">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>フレーム合成撮影</td><td colspan="2">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>画質モード</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>測光</td><td colspan="2">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>設定保持</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>起動画面</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>レックビュー</td><td colspan="2">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ファイル名メモリー</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>カスタムボタン設定</td><td colspan="3">○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">モード
機能</th><th colspan="2"></th><th rowspan="2"></th></tr>
<tr><th>P-AUTO</th><th>SCENE</th></tr>
<tr><td>ビープ音</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>シャッタ音</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>操作音</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>保存後</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>プリント後</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>新規全コマプリント</td><td colspan="3">○</td></tr>
</table>

○：設定可能　　－：設定不可

※1　［ムービー録音］を［オフ］に設定した場合
※2　、、、モードを除く
※3　パノラマ撮影を除く
※4　、、、、、モードを除く
※5　パノラマ撮影を除く

各部の名前

カメラ

シャッターボタン ☞P.22

パワースイッチ（POWER）

フラッシュ ☞P.38

録音マイク ☞P.54, 89

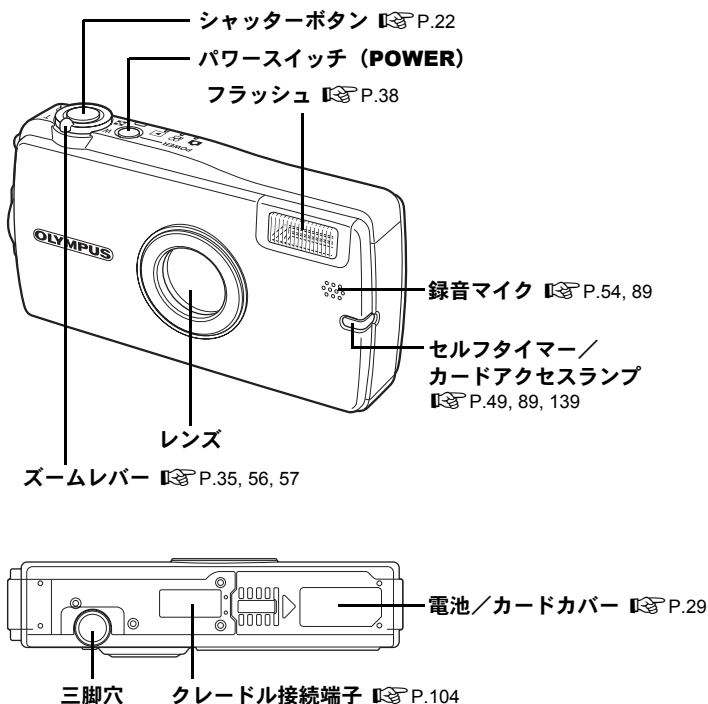
セルフタイマー／カードアクセスランプ ☞P.49, 89, 139

レンズ

ズームレバー ☞P.35, 56, 57

電池／カードカバー ☞P.29

三脚穴

クレードル接続端子 ☞P.104

状態	パワーランプの表示	状態	パワーランプの表示
電源オン	点灯（緑）	VOICE再生一時停止中	点滅（紫）
電源オフ／スリープモード時	消灯	プリンタ（PictBridge）接続時／プリント時	点灯（水色）
充電中（カメラ電源オン）	点滅（緑）	USB接続中	点灯（緑）
充電中（カメラ電源オフ）	点滅（赤）	Dock＆Done接続中／ストレージ再生中	点灯（青）
充電エラー	不規則に点滅（赤）	Dock＆Done保存／プリント／リモコン受付	点滅（青）
VOICEモード／VOICE録音中	点灯（紫）		

MENU ボタン ☞P.15

モードスイッチ ☞P.10

パワーランプ ☞P.172

リモコン受信窓 ☞P.76

ストラップ取付部

スピーカ

十字ボタン（△▽◁▷） ☞P.14, 15

液晶モニタ ☞P.175

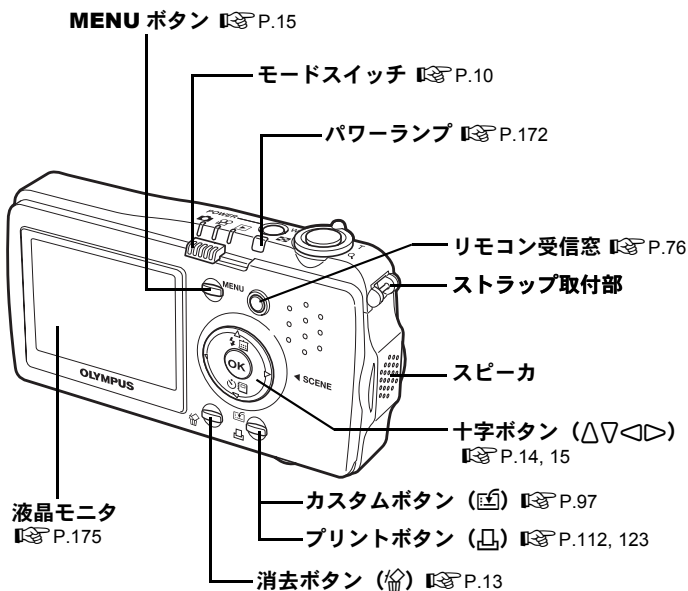
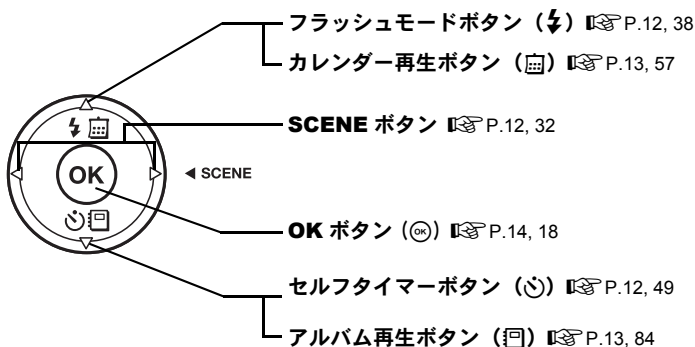
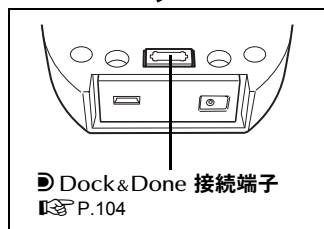
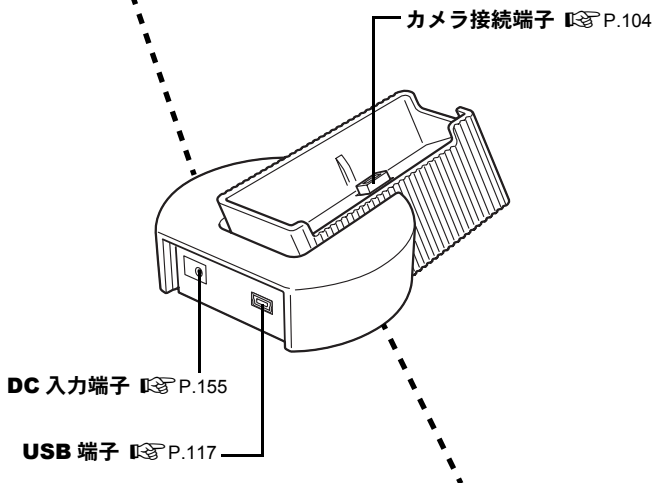
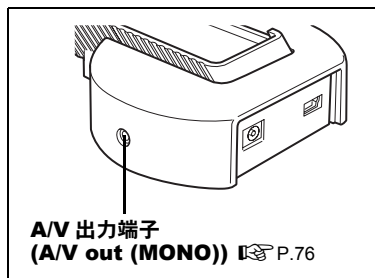
カスタムボタン（ ）☞P.97

プリントボタン（ ）☞P.112, 123

消去ボタン（ ）☞P.13

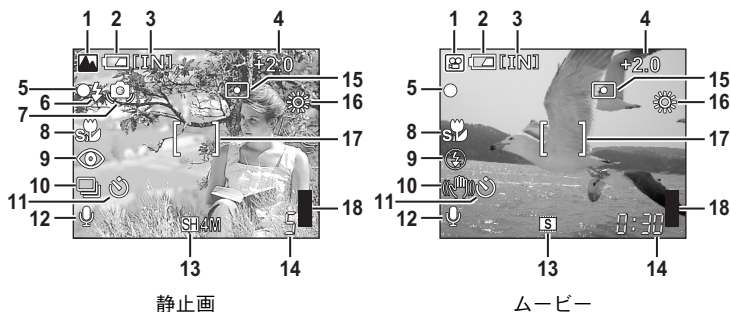
十字ボタン

クレードル

A/V 出力端子
(A/V out (MONO)) ☞P.76
カメラ接続端子 ☞P.104
DC 入力端子 ☞P.155
USB 端子 ☞P.117
Dock&Done 接続端子
☞P.104

液晶モニタの表示

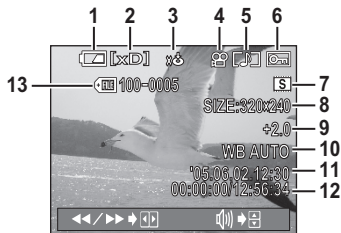
撮影モードまたは再生モードの情報は液晶モニタに表示されます。再生モードで画面に表示される情報量は、[情報表示]の[詳細][標準][オフ]から選択して設定できます。

●撮影モード

静止画　　　ムービー

	項目	表示例	参照頁
1	撮影シーン	P、、、、、、など	P.32
2	電池残量	、	–
3	使用メモリ	IN、xD	P.28
4	露出補正	–2.0～+2.0	P.45
5	緑ランプ	○	P.22
6	フラッシュ発光予告 フラッシュ充電	点灯 点滅	P.39 P.39
7	手ぶれ警告		–
8	マクロ スーパーマクロ		P.37 P.37
9	フラッシュモード	()、、、	P.38
10	連写(静止画の場合) 手ぶれ補正(ムービーの場合)		P.43 P.41
11	セルフタイマー		P.49

	項目	表示例	参照頁
12	録音	🎤	P.42、54、64
13	画質	SH5M、H13M、H22M、PC1M、✉（静止画の場合）、S、L（ムービーの場合）	P.24
14	撮影可能枚数 撮影可能時間	5 00:30	P.25 P.40
15	スポット測光	[•]	P.47
16	ホワイトバランス	☀、☁、💡、蛍光灯	P.46
17	AFターゲットマーク	[ ]	P.22
18	メモリゲージ	▮、▮、▯、▯	—

●再生モード

下の画面は［情報表示］を［詳細］にしたときの画面です。☞「情報表示」（P.61）

静止画　　　　ムービー

	項目	表示例	参照頁
1	電池残量	▭、▭	–
2	使用メモリ	IN、xD、C➡	P.28
3	ストレージ保存	(ストレージ保存しない／保存終了の場合)	P.113
4	プリント予約・枚数 ムービー	×10	P.123 P.59
5	録音	[♪]	P.59
6	プロテクト		P.77
7	画質	SH 5M、H1 3M、H2 2M、PC 1M、（静止画の場合）、S、L（ムービーの場合）	P.24
8	画像サイズ	2560 × 1920、2048 × 1536、1600 × 1200 など	P.24
9	露出補正	–2.0～+2.0	P.45
10	ホワイトバランス	WB AUTO、、、、	P.46
11	日時	'05.12.11　15:30	P.101
12	コマ番号 再生時間／録画時間	5 00:00/00:36	P.85, 123 P.59
13	ファイル番号	FILE 100 - 0005	P.123

ご注意

- ムービーの場合、画像を選択して表示したときと、ムービー再生中で表示内容が異なります。

各部の名前

資料

13

索引

カメラ各部の参照先については、「各部の名前」をご覧ください。

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

お問い合わせいただく前に（お願い）

●より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
●FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
●問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけくわしくお知らせください。

●お名前（フリガナ）

●連絡先：郵便番号
　ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）
　電話番号/FAX
　E-mail

●製品名（型番）：

●シリアル番号（製品底面に記載されています）：

●お買い上げ日：

●問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：

＊以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。
●ご使用のパソコンの種類：

パソコンメーカー・型番等

●メモリの容量　ハードディスクの空き容量：

●OS名とバージョン：
（Windows）コントロールパネル–システム–デバイスマネージャーの内容
（Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容

●その他接続されている周辺機器名：

●問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：

●問題のご使用弊社ソフト名とバージョン

OLYMPUS®

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報を当社のホームページで提供しております。
オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

● 電話等でのご相談窓口

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル

0120-084215

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間　平日　9：30～21：00
土・日・祝日　10：00～18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

● 修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　FAX 0266-26-2011

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター
営業時間9:00～17:00
（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

● 国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町1の3の1　小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1の2の3　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央１の13の4　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦2の19の25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場2の12の26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第2ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通3の6の11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4469

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

Printed in Japan
1AG6P1P2602--　VE855501